

え

えの発音は、イとの間に移行あり 特にエイ（永、映、栄）はエエ。ヨイもエエと発音される事が多い。

…え【終助詞】1) 文末に有って命令、又は、前文の強調を表す。見よエ 行けエ 来いエ しえエ（志、桑市、鈴市、一、上、阿、張、北、尾、南）2) 文末有って疑問を表す。ほんエ（志、鈴市、張、伊）【会話】₁₎ 此れしえエ（しなさい）言うて。見よエやら（とか）行けエやら（とか）言うて 後言葉やなあ（です）。

えあっそお 偉そう

えいえ。えいえい【名詞】歩く。幼児語。えええ参照（志（布施田））

えいさら こいさら。えんさら こいさら どうやらこうやら やつとのことで かるうじて【会話】エイサラコイサラ言うな（のは）一生懸命（命）で言う事やなあ（です）。エイサラコイサラでまあ この坂あがんのん（上がるのに）言うて。いっしょけめ（一生懸命）言うよおな事やなあ（です）。ほんとん（本当に）坂あがんのん エイサラコイサラであがったねない（上がったのです）言うて。一生懸命なら（ならば）やさしんけど（やさしいが）それよりえらい（大変）事言うんな（言うのです）。

エイヤア【名詞】Aiaの訛った語 空気

えいわし【名詞】片口鰯 鰯の餌にする鰯 カタクチエイワシ科の海魚、全長18cmに達する、背面は暗青色、腹面は銀白色、口は大きく上あごは下あごより長く丸く前方に突出する。成魚は鰹釣りの生き餌にし、稚魚は、いりこ、しらす干しにする（志）【会話】エイワシをさして来て（取って来て）大漁やてわい（だそうだ）言うて。今頃（六月）になって来ると、エイワシな、ほおて（が集まって来て）さいてきよおって（掬って来て居て）、そすと（すると）それは、みな呉れよおって（呉れて居ました）。貰らいん行きよおったんな（に行ったのです）。エイワシさいて来たんてわい（そうだ）早よ（早く）貰らいん（に）行こや（行きましよう）言うて、浜い（に）貰らいん行きよおった。エイワシさいて言うな 網ですくんの（掬くるの）を、はらみさいて獲って来た言うて。はらみ言うて 網こげなぐらいの（この位の約1.5m）はばんのおい（巾ののへ）じょおほおん（両方に）てえ（柄）なついて はらみ言うて、そんで（それで）すくんの（掬うのです）えな（が）ほおた言うて、鰯な（が）

ピョンピョン沖でとんでくんね（跳ねて来るのです）、ああ、えなほおた言うて それい（へ）追わえてて、じょおしな（て行って漁師が）はらみ言うの（ので）そんですくんの（それで掬るのです）そやもんで（それで）それはわがとら（自分達）いっばい（一隻）でとられんのおや（獲れるのです）、他の大網や（だ）言うと にはい（二隻）も、さんばい（三隻）も、いんねけど（必要だが）はらみ使うな（のは）わがとらな（が）すくんの、ゆわしな（が）ピョンピョンとんでくん（来ます）あや（あれ）えな（が）ほおたど あれい追わえ言うて、とぶ（跳ぶ）のをえな（が）ほおた、えゆわしなほおた言うて。

えいわしさす 鰯を網で掬る ええさす参照【会話】エイワシサス言うな（のは）、網で掬くんのを（るのを）、はらみさいて（刺す、入れる）、獲て（獲って）来た言うて。

ええ えいの発音は殆どええになる。

ええ（好）【形容詞】1) よい 好ましい エイ（好）の転（大言海）（三重県全域）2) いらぬ 不要（志（布施田）、上、張、南）【用例】₁₎ エエ きりもん（着物）着たなあ、₂₎ 俺家や（は）有るよって（から）エエわい（です）。

ええ（絵）【名詞】物の姿形を描いた物（員、三、鈴市、鈴郡、亀、一、松、多、上、阿、張、伊、北、尾、南）【会話】描くエエもあるし なべぶた（鍋蓋）のエエ（柄）もあるし、しゃく（杓）のエエ（柄）もあるし え言わんと、皆 エエ、あんたな（貴方が）何んか言うて なんなエエ（何ですか）言うて問いかやす（返す）の、問いただすことを、といかやす（問い返す）のをなあ 何んをエエ言うて わしらみたよな、ずんた（わたしのような耳の聞こえにくい）のもな（者は）あいなしん（に）なんおえ なんおえ 言うて、とおとんのお（尋ねています）ひとくらんよお開かんやんない（一度に開けないので）。物が好くても、エエなあ言うしなあ（言います）あや エエきもん、きとてなあ（着物着ている）言うて、エエもんが（物が）有るなあ言うてまあ、そして、やろかあ（あげようか）言うて、まあ エエわれ（よろしい）言うて、いらんわい（要りません）言うのも エエわれ言うね、いらん 言うことをなあ、ここら、ま、エエわれ言うて、ま エエわいとか。

ええ【名詞】柄 手で持ちやすいように器物(刃物 鋏等)につけた細長い部分(三、鈴郡、鈴市、一、松、伊、阿、張、尾、北) [会話] 杓のエエ エエな(が) なんが長い(長い)

ええ(えひ)【名詞】魚名、えい、鰻、かすべ 軟骨魚類 横口目エイ亜目の魚の総稱。体は上下から押し潰したように平たく胸鰭が大きい。目は頭の背面に、口と五対の鰓孔は腹面に開いている。(鳥)

ええ【名詞】かたくちいわし えいわし参照

ええ(えー)【感動詞】【形容詞】1) 相手の言った言葉が判らない時、問い返す。2) 文末に付けて疑問を表す 3) 肯定、承諾の意を表す はい よろしい(志(布施田、波切、国府)) 4) 断る、いらぬ[会話] 1) なんやかや言うと(いろんな事言う)と エエ言うやんない(言うでしょう)、なつと(何と)言う事かいなあ(かと) おもて(思って)聞きなおす時に、エエ言うの(のです)。聞きなおす時に なんを(何を) エエ言うて、ずんた(耳が悪い) やもんでなあ(なので) ひとくらん(一度で)人の言う事もよお(よく) 聞かんやんない(聞けないので) そすと(そうすると) なんをエエ(何ですか?)言うて。3) エエてわい(そうだ)言うて 4) いらん(要らない、不必要)言う事を、エエてわい 言うね(のです)。まあエエ言うとたわい(言っておりました)言うね。

ええあんばい【名詞】好都合(志(布施田、片田、畔名、国府、鶴方)、鳥(国崎、坂手、答志、桃取)、桑郡、員、上、阿、張、度、南、熊) [会話] よかったなあ言う事を、エエアンバイやったなあ(だった)言うやんかいなあ(言います)。エエアンバイでなあ、よかったなあ言う事。エエアンバイに、して貰てなあ(貰つて)言うて。

ええあんばいに 好都合に。ええあんばい参照(志、鳥、阿、張、名)

ええい(えええ)【感動詞】1) 喜び、怒りなどの感情を表す語。2) 力を入れる時に発する語 怒りや不満を表す(志(布施田、国府)) 3) 否定を表す語(志)

ええいくそ【感動詞】ええいくそが付いて思うようにならなくて いらぬらす時や、人を罵ったり自分を奮起させる時に使用 くそ 名詞、形容詞に付いて軽蔑の意味を含めて その語の意味を強めるのに使用(接尾語) 名詞、その他の語に付く卑しめ 罵る時に使用 やや軽蔑の意味を含めて 程度の甚だしいさま(接頭語)(三重県) [会話] 男の人らな(が) エイクソ、此のやろ(野郎)言うて。あや(あれは) すかん

事(嫌な事)言う時ん(時に) エエイクソ、この糞やら(野郎)、なん(何)言うねど(言うのだ)言うて。ものすごお(ものすごく) すかん事した時ん(時に) 使わせんかい(使いませんか)。

ええいま【感動詞】腹の立つ時。その語の意味を強めるので、まあをつける ええいくそと同じ意味 [会話] 腹な(が) 立つ時ん(に) ええいくそ言うて、男らな(が) よお言うやんかい(よく言います) ええいくそ言うな(のは) 男な(が) 使う言葉な(です)。この言葉は、女はそえん(そんなに) ええいくそ言うな使はへんけどな(使いませんが) エエいま此のくそやろや(だ) たら(とか) くそあまやたら言うて。

ええうるおい【名詞】晴天続きの後、適当に雨の降る事。うるおい参照

えええ【名詞】歩く事。幼児語 [会話] エエエ言うて、歩かす時にエイエイ、エイエイして来た言うて エイエイせえ言うて歩くの、エイエイ言うの。

えええくそ【感動詞】1) 努力する時の掛け声 エエイクソ参照 2) 叱る言葉

えええまあ【感動詞】叱る時 ええいま参照

えええん【名詞】永遠

えええん【名詞】歩く。幼児語。

ええか よろしいか(一) [用例] そんだけ(それだけ)で まあ エエカ。

ええが(えいぐあ)【名詞】映画 えいがかん 映画館 [会話] エエガ(映画)を活動写真や、かつどおしやしん みいんいこや(見に行きましょう)言うて

ええが【名詞】栄華 えいが 世に時めき栄える事 [会話] 栄耀栄華ぜいたくする言うのな(のを) えよおエエガ。

ええかあ よろしいか。よいですか。(志、鳥(坂手)) [会話] あんた(貴方)の病気ええんかい 此のごら(頃は)言うて エエカアは 目下の人に使うね よいかい(よろしいか、よいですか)言う事を ええ言うね。いいかいとか。

ええかい よろしいか かい 疑問の終助詞カに、終助詞イが付いて出来たもの。文末について質問 反問の意を強める。疑い、問いかけの気持ちを表す。不定の気持ちを表す。反語の気持ちを表す。反発する気持ちを表す。相手をなじる気持ちを表す。誘い、依頼の気持ちを表す。遠回りに命令する気持ちを表す。独り合点の気持ちを表す。願望 詠嘆の気持ちを表す。ええかいな参照 い 終助詞 文の末尾に付く念を押したり 語気を強めたりする気持ちを添える質問や反問の

意を強める。軽蔑や投げやりの気持ちを込めて言い返す時に使用(志(浜島、鶴方)、鳥(坂手))

ええかいなあ 1) よろしいですか 2) よいだろうか
[会話] 1) これにしても エエカイナ言うて、これ貰ろても(貰らっても) エエカイナ言うたり、ほしんけど(欲しいが) 呉れるやら(か) 呉れやせんやら(ないか) 判らせんけど(ないが) これ貰ろても、エエカイ言うてな 問うのな(です)。ええわい(よろしい) もてけえ(持って行きなさい) 言うて これ貰ろても(貰らっても) いいですか言うのを これ貰ろても、エエカイナとか エエカイとか言うて言うて ああ ええわい持てけえ 言うて。

ええかお【名詞】 1) 自慢顔。面目が立つ。2) 子供の笑顔、又面白い顔つき(上、阿) 3) 対外的に有名であり権威、影響力のある事またその人 4) 器量のよい顔 [会話] 1) ええこと(よい事) をわが(自分の) 方い(に) 最頂する時、エエカオ して言うて。わがとばっか(自分ばかり) エエカオシて言う。4) そして器量のええの(よいのを) 見ると ああ、あの人、エエカオしとんなあ(している) 言うて言うし、元気そおん(に) しとんのも(しているのも) 言うし、1) 自慢する時な(に) わがとばっか エエカオして、おんな(俺が) こや(此れは) した、こげんしてしたね(こんなにしてしたのだ)、こや おんな 発明したね(のだ) とか言うて言うて、わがと(じぶん) まあ エエカオして言うてな ええかおする言うのも一緒のことや(ことです)。2) 子供らん別嬪の顔せえ言うて エエカオせえ(しなさい) 言うて、口いがめたりな(歪めたり) ちよんぼりぐちや(すばめたり) ああ エエカオしたれまあ(しなさい) 言うて こえんしてしたりしてするやんかい(します)。

ええかおする 1) 自分をよいように見せる 自慢する(阿、張、名) 2) 苦苦しい顔をする

ええかおもて 良いかと思つて、調子に乗つて、ええかともて参照

ええかげん(好加減)【名詞】【形容詞】 1) いいかげん 出鱈目 無責任 ええころかげん えっころかげん えかげん(志(浜島)、員、鈴市、久、阿、伊、南) 2) 良い加減 宜しい加減 加える事 減らす事 物の程度を程よくする事、又、程よく整えられた具合や程度 物事の状態や調子 健康状態 時候にも使用 接尾語、程度、具合等の意を表す。丁度よい状態に有る事の意を表す。その気味の有る事などの意を表す [会話] 1) いい加減言やええねけど(言えば良いの

に) エエカゲンにして言うて、ええっころかげんや(だ) 言うて。おおさおおさ(大体) にしとく(して) おく(する) 言う事やろな(でしょう)。ざっくばらん言う事やわい(です)。おおさおおさ言うて。おおさおおさになんもかも(なにもかも) して言うてなあ。なんも(何も) 考えなしん(無しに) 無頓着にしたる(してやる) 意味でもあんの(有るのです)。ざっくばらんにしたる 言う事をなあ。おおさおおさにして、ほっといてたね(放っておいて行ったのだ)、あやあれ(あれ) 言うて。2) 風呂の加減も、いいかげんや(だ) 言うて。湯の加減はどおどい(どうですか) 言う。漬けもん(漬け物でも) でも美味しいと、エエカゲンやなあ(です) 言うて、いい言う事やなあ(です)。

ええかげんな 1) 大変な(志) 2) 出鱈目だ 無責任な [会話] 2) えっころかげんなこと言うて、たいがい(大体) あてずっぱおん(に) 言うとなあ、あや(彼は) えっころかげんなこと言うて。エエカゲンなこと言うてとられ(言っている) 言うて。かいい、ほんど(大体本当) でもないのを、ほんどみたよん(本当のように) 言うて、えっころかげんなこと言うて、知りもせんとおつて(知らないのに) 知ったかぶりすると たいがい えっころかげんで あやまあ言うてとねど(あれは言っているのだ) 言うて。その時は出鱈目 あてずっぱ。あてずっぱ言うて、たいがい そのぐらいの事かいい(だろうか) 言うて あてことみたよん(推理のよなに) 言うての あてずっぱな事言うて、えごつと(充分) 知らんと(知らずに) おつてやんない(でしょう) これは エエカゲンナ 言うのと一緒やなあ。

ええかっこお 1) よい格好。自慢げな様子。2) 不様な様子(上、阿) [会話] 1) エエカッコオやなあ(だ) 言うて、ひんなええ(格好がよい) と おおた、あのひた(人は) だらいい(大変) 格好な(が) ええ人やなあ 言うしなあ(言います)。

ええかっこおして 自慢気に振舞つて [会話] わがとばっか(自分ばかり) ええよん(よいように) 言うて、あや、わがとばっか、エエカッコシテ言うて。ええかっこおも ええかおも よお(よく) 似たことや(です)、同じ理屈やわい(です)。

ええかっこおする 自分をよいように見せる 自慢げに振舞う(阿、張、名) [会話] エエカッコオスル言うても、ええかっこおして言うても 一緒みたよん(のような) 事やなあ(です)。

ええかともて 良いかと思つて いい気になつて 偉そ

うに ともて と思つて (南、熊) [会話] あんげん言
や (あんなに言えば) エエカトモテ (思つて) あいな
(あのような) 事言うて。

ええかな よろしいか (員)

ええがはう 1) 鯛が此れを餌とする魚に取り込まれて
一ケ所に丸く集まり海面にもりあがる事 2) 喧嘩す
る ええさす参照

ええかわりか 善いか悪いか (張) [会話] エエカワリカ
を、たしかめてみよまあ (みなさい) 言うやんかい
(言います)。良いか悪いか言う事を エエカワリカ、
そやなあ (それは) えごとなあ (充分) たしかめとい
てせななあ (ておいてしなければ) 言うて。何かを
こげんしてしよおや (こんなにしてしましよう) 言う
て 人が持つて来る事を、エエカワリカ判らせんのん
(ないのに) 人の口え (に) 乗つてとか、そお言う時
に使うのな (のです)。

ええき 【名詞】 好い気 無頓着 [会話] エエキン (に)
なつてあやれ (あれ) 言うて、何ん (何に) でも、出
鱈目みたよな (のような) 事言うて エエキン (に)
なつて あやれまあ 言うて。エエキン (に) なつて、
あげん (あんなに) 言うて いろいろの事を 自分が
知らんとおつて (知らないのに) いろいろの事を、さ
も (いかにも) 知つとり (ており) そおに言うのを
あやま (彼は) エエキン (に) なつて、あいな (あんな)
事言うとんねど (言っているのだ) 調子ん (に)
乗つて言うて。

ええきげん (えひきげん) (酔機嫌) 【名詞】 酒に酔つて
機嫌のよい事 よいきげん

ええきしよく 【名詞】 良い気分。いい気味。(上) [会話]
かいとこ (所) 搔くと、きしよくなええやんかい (気
持がよろしい)。かいでもろたや (搔いて貰つたら)
きしよくなええよお (気持がよい) 言うてな。あいな
(あんな) 事して ばちな (が) 当つて、エエキシ
クやなあ (だ) 言う。わり心 (悪い心) 持つとる (て
いる) 人な (が)、失敗したると (してやると) あやれ
ま (あれ) ばちやれ (だ) まあ ほんとん (本当に)
ええきいやなあ (気持ちだ) きしよくな (が) ええな
(よい)、あいな 人な (が) あいな事してまあ。

ええきなもん 無頓着 気にしないこと (上、阿) [会
話] エエキナモンやなあ (だ)、あげん (あんなに) し
て、家の者 いっしよけんめ (一所懸命に) なつとん
のん (なっているのに) わがた あげんして (自分は
あんなにして) 何んもせんと (せせずに)、あつちや (あ
ちら) ぶらぶらして エエキナモンやなあ 言うて言

うやんかい (言います)、ひた (人は) 一生懸命働いと
んのん (ているのに) あつちやいぶらぶら こつちや
ぶらぶらして、ひよおやく (冗談) 言うとるとな (て
いると)、エエキナモンやなあ (だ) 家の者ら (は) 一
生懸命なつとんのん (なっているのに) 言うてなあ。

ええきになる 得意になる、調子に乗る、ええきんなる
ええきもん 【名詞】 よい着物。晴着。外出着。(志 (神明、
鶴方)) [会話] エエキモン言うて、新し、とつとき
きもん (新しい取つて置きを着物) を エエキモン着
て、何処い (へ) 行くんどうい (行くのですか) 言うて。
ちよいと (少し) さつぱりするとな、きばれなすんね
なあ (着晴れがするのです)、洗濯物着て、ぱつとして
出ると、おた、きばれな (が) して ええよおみよま
あ (よいのを見なさい) 言うて。

ええきよお (えいきやう) 【名詞】 影響 原因と結果と必
ず伴なふ事 [会話] お前がそげんしたら (そんなにし
たら)、こや (これは) おらげ (俺の家) も、エエキ
オしてくんなあ 言うて、関係して来る言う事やかな
(でしょうか)。やしき (土地) なぶつたり、何んやか
やした時も、そいな (そんな) 事言うやんかい (言
います)。そこら なぶつたら、わしらげ (私の家) も
エエキオして来るわい (来ます)。水な (が) 落ちる
とか、がらな (小石が) 落ちるとか言うて、そいな時、
おらげも エエキオしてくんね (して来るのだ)、そ
いな 事しとたら言うて。

ええぎよお (えいげふ) 【名詞】 営業 [会話] エエギヨ言
うな (のは) 商売の事 エエギヨ言うやんかいなあ
(言います)。

ええきりもん 【名詞】 よい着物。晴衣。(桑郡、上、阿)

ええきんなる 得意になつて居る

ええぐあい 好都合 丁度よい (南、阿、張、名) [会
話] エエグアイにして貰ろてなあ (貰つて)、都合よく
して貰ろた (貰つた) 言う事を、エエグアイやか
(だとか)、ええあんばいん (に) して貰ろてなあ 言
うて。ええあんばいんしてもろて 言うて、エエグア
イ言うのも。ええあんばいん (に) 言うて、エエグア
イん (に) なつたなあ言うの (のを) ええあんばいや
なあ (だ) 言うて。

ええぐあいに 1) 適当に 2) 好都合に

ええくそ 【感動詞】 1) 掛け声、いまいまい時に発す
る語 (上、阿、張、名) 2) 力を入れて努力する時に
発する語 [会話] 1) エエクソ踏み倒したんど (踏み
倒してやるぞ) 言うて、腹な (が) 立つ時ん (に) エ
エクソ言うて、男らな (が) よお言うやんかい (よく

言います。こや (これは) 男な (が) 使うな (使います)、この言葉は、女は そえん (そんなに) エエクソ言うな (のは) 使わへんけどな (使いません) ええいま このくそあま言うて、悪り (悪い) 事を 子供ら な (が) した時に怒る言葉や (です)。

ええぐわい 好都合 丁度よい (阿、張、名) [会話] エエグアイや なあ (だ) ええあんばい やなあ (だ) 言うて、丁度、ええ事を (よい事を)。

ええぐわいに 1) 好都合に (張) 2) 適当に [会話] 1) ええあんばい言うのも一緒や (です)。都合 よお (よく) して 貰うた (貰った)。都合 よお なった言うのな エエグワイとか ええあんばいとか言うて。

ええけど よいが よいけれども (張) [会話] エエケド言うな (のは)、こんで (これで) いいけども言うのを、いいけれども言うのを、エエケド 言うね (言うのです)。そんで (それで) エエケド 言うて、しょことなしん みたよん (仕方なしにのよう) 言う事や かなあ (でしようか)。エエケド 言う事は、ええねけど、ええんけど、エエケド 言うのは 言うて、なんやら (なにか) しねな (芯が) あるよおな言い 方やな (です)。許してやりたくないよおな、そげん (そんなに) 言うても、許したら なはざんかな (てやらなければいけないか) と 言う様な時やなあ (です)。どに (路に) まよたよおな言い 方やな (です)。エエケド 言う時は だな (が) 付く時は、ええわれ (よろしい) 言うて、ま、そんでええんけど (それでよいのだが) エエケド 言うのは ちよいとあとい (少し後へ) しねな 残る言い 方や (です)。しねな ある しねな 残る 後い (へ) 何んやら 残る、言いたい様な、言いたない (言いたくない) 様な言い 方すんのを (するのを) 言う。自分ではつきりせん、心に引掛かる 心に残る事な (です)。残る事を しねな 有る言うて。

ええけどだ よいのだが かまわないが だは幾分の否定を表す ええけど参照

ええこ 【名詞】 1) よい子供 (阿、張、名) 2) よい娘 (阿、張、名) [会話] 1) エエコ言うな いい子言う事や わいな (です)。おとなして (おとなしくて) エエ コやなあ (だ) 言うて、器量がよおても (よくても) エエ コやなあ (だ) 言うし、かしこおても エエコやなあ 言うし、あの子あ よいこや ぼたもち 顔できな粉つけたら なお よかる 言うて。

ええご (えいご) 【名詞】 英語 えいご [会話] 横文字、エエゴ 言う のな (のです)。エエゴでふみかく親の前、親はそれとも知らずして えらい べんき やと ほ

めている言うて。ふみ書く親の前言うて、ま エエゴ でかくもんで (英語で書くので) 判らせんやんかい (判りません)。ふみ言う な (のは) 手紙、恋文 書いと んねけど (書いているのだが) 親は エエゴ 知らんも んで (知らないの) 何ん書いとんねど (何を書いているのだ) 勉強しとんねな (しているのだなあ) えらいな 家の娘言うて、よろ こんど んね (です)。

ええこと (好事) 【名詞】 よい事 面白い事 楽しい事 特に男女の事柄について言う。(鈴市、伊、北)

ええごと 1) 充分に 完全に 2) よろしく よいように (志 (波切、志島、甲賀、国府)、鳥 (浦村)) 3) 綺麗に [会話] 1) エエゴト、えごと まあ、まるけ られたれ 言うやんかい (まるめられた言います)、3) えごと 言うて、物を こしらえて (作って) 具合よお (よく) 出来ても エエゴト出来たなあ言うて。えごと しとかな はざんわれ (しておかなければいけない) 言うて、綺麗にせえ (しなさい) 言うて、えごと しとかな はざんわれ そこら 散らばつとん (散らばっている) のを。よごれたりして掃除 すんのも (するもの)、そこらも えごと しとけ まあ (しておきなさい) えごと 片付け なはざんわれ 言うのを。エエゴト言うのも えごと 言うのも 同し 言葉やけどな (だが)、エエゴト しとけ 言う人間も えごと しとけ 言う人間もある しなあ (有ります)。そすと、えごと しとけ 言うのも有る しなあ。

ええごとみてみよ 十分に見なさい よく見なさい (志、鳥) [会話] 無いわ (無い) 言うて、エエゴト ミテ ミヨ まあ、其処らを言うて。えごと 捜して 見よ 言うて、よく見よ まあ 言う事を、えごと 捜せ 言うて。何か 捜しても、どこそこ 見て 見よ 言う たや (見なさい言ったら) 何んも (全く) 捜しても 無いわ (ありません) 言うたや エエゴト ミテ ミヨ まあ 言うて。

ええことんする 機会にする チャンスにする よりどころにする

ええころかげん いい加減 出鱈目 ええかげんに同じ参照 (志 (布施田)、一)

ええさす 沖中で鰯がこれを餌にする魚に周りから追われて真ん中に密集して水面に盛り上がるようになった状態、又、これを網にて掬う事。[会話] エエ サス 言うのは 鰯な (が) びよん びよん 飛ぶのを ほら あみ 言うて 両方 から ええな (柄が) ついとん のな (付いて居るのが) 有って そんで (それで) 掬う のを な 今日 は ええな (が) ほお て (集まって) ええ 掬 て 来た言う。掬う事を エエ サス 言うね (言うのです)。

網ですくねけど(掬うのだが) りよほおとに(両方に) ええな(柄が) 付いとんのな有るわな(ているのが有ります)、はら網言うて、それをなあ(掬った鰯) 舟へ(に) よっけ(ようけ、大量) 積んで来て さとん(里の) 浜へ 付けて来ると(舟を着けると) 皆な(が) エエサイテキタ、貰いん(に) 行こや(行きますよう) 言うて、貰いん(に) 行くと、お金にならん(ならない) 魚やもんで(なので) 皆ん 呉れんの(に呉れるのです)。えたれ鰯言うて しょからんの(塩辛に) 漬けんのな、ええけど(漬けるのは良いが) 口な(が) おつきいな(大きい) 鰯と又違うんでや(違うのです)。そやもんで(それだから) エエ サイテクル 皆 貰いん(に) 行て(行つて) 和具中の 知つとるもん(者) な 貰いん(に) 行くと、呉れんの。エエサイテキタンテワラ(来たそうだ) はよ(早く) 貰いん(に) 行け言うて 皆 貰いん(に) 浜走んね(浜へ走るのです)。エエサイテキタ、はよ 貰いん いて来い(行つて来い)、おら(俺は) 貰ろて来た 言うて、皆な(が) つめやい(ひしめき合い) して 貰いん(に) 行きおったわい(行つて居ました)。

ええざま。ええざまや(好様)【名詞】 ざま見よ いい気味、ざま 様 態 さまの転 様子や格好などをのしつたり 嘲つたりして言う語、反対的表现。や 上代語 状態を表す 造語要素についてそういう感じである状態を表す。[会話] エエザマの かあや(皮だ) 言うて あざわらい(嘲笑) する事やなあ(です)。ばちや(罰だ) 言うよおな事や(です)。罰な(が) 当た た言うやんかな(言います)。罰な(が) 当 つて ざま見よ 言うて、別に(特別に) 憎らしよおな言い方や(です)。

ええさらこいさら【感動詞】 やつとの事で(志(布施田))

ええし(好衆)【名詞】 財産家 金持ち 名門(上、阿、張、名)

ええし よろしい 構わない [会話] エエシ こんで(これで) エエシ 言うて、仕事しとると(していると) きまると こんで(終るとこれで) エエシ 言うて こんできま ったし(これで終った) まあ ええわれ(よろしい) 言うてな。

ええしめり【名詞】 適当な潤い。晴天続きの後の雨降り
ええせえ(えいせい)【名詞】 1) 衛生 2) 永世 [会話] ¹⁾ エエセエ言うのは 綺麗にする事やろ(でしよう)。そこらを不潔にすんな(するな) 言う事やろ(でしよう)。そげん(そんなに) 不潔ん(に) しとる

と エエセエにわりわれ(悪いです) 言うてな。

ええそおな よいそうだ(志(立神))

ええそおや よいそうです

ええだい(えいだい)【名詞】 1) 永代 長い月日 いつまでも 2) 絶対 永久に絶対のに意になる エエダイ来やせん 3) いつも 常に(北) [会話] ¹⁾ ³⁾ エエダイあの人 ねじやか(寝釈迦、寝てばかりいで)で、年がら年中言う事を、エエダイ あげんしと んね(あんなにしているのだ) 言うてな。一年中なあ 一代あげんして(あんなにして) 病氣しとる(している)とか、ぶらぶらしとる とか言うのな(です) 長い間しとる言う事やなあ、エエダイ言うねよつてな(言うのだから)。

ええで。ええでえ よろしい

ええてかい 1) よいと言って居ますか 2) よろしいか

ええてや 1) 好ましい。よろしい。2) いりません 不要です(度) [会話] ¹⁾ そやま、こんで(それはそれで) エエテヤ 言うて、こんで ええやんかい(それでよろしい)とか、エエテヤ まあ、エエテヤ 言うて、そげん言わんと(そんなに言わずに) 持てけてや(持つて行きなさい) 言うて、まあ エエテヤ 言うて、¹⁾ 物こしらえとでも(作つていても) こんでええかいの(これでよいですか) 言うて、ええやんかい こんで エエテヤ 言うてな。これより上手ん(に) 出来やせん(出来ない) こんで エエテヤ 言うて、あんまり(あまり) 上手ん(に) 出来とらせん(出来ていない) 時の事やな(です)。エエテヤ 言うて きちつと 出来た時、どいらいええやんかい(大変立派です) 言うんけど(言うのだが)、ちよいと まづうても(下手でも) 出来な(が) わり(悪い) けど、まあ こんで ええやんかい エエテヤ

ええてわい 1) 不要であるそうだ 2) よろしいと言って居る [用例] 一緒に 行ても エエテワイ(同伴してもかまわない) (志(志島、鳥) [会話] ¹⁾ そや(それは) エエテワイ、そげん(そんなに) 言うたけど(けれど)、あげん(あんなに) 言うたけど エエテワイ 言うて、あげんして、たのんだけど(あんなに頼んだが) そや エエテワイ(それは不要だ) いらん(要らない) 言う事や(です)。あげんして 頼みに行 たけど(行つたけれど) そや エエテヤ 言うて、よお(よく) 言う事やな(です)。

ええてんきやのお よい天気ですね。晴天の日の挨拶

(北)

ええと【感動詞】 すぐ次の言葉が出なくて 考えて居る時に発する言葉

ええど 1) よろしい 2) 立派だ 3) 要りません
[会話] 2) ええなあ言う事や(だ)。その時のエエドは いい事やなあ(です)。ああ エエド言う事や。小さい時分(時代) かくれんぼすると まあ ええかあ(よいか) 言うとおお まあ(もう) エエド言うて、かくれんぼするとなあ もういいかい言うのを まあ エエド 言いおった(言っていました)。まだかあ(まだですか) まあだだよ言うのを まだやあれ(まだです) 小さい時分 まだやあれ。

ええどい よろしいか 二つ以上の物を比較する時に用いる [会話] 置いといて、どれがいいか言うの どちらかな、エエドイ 言うね

ええどお よろしい よろしいです(張) [会話] そやまあ、そんで(それはそれで) エエドオ まあ 言うて、そんでええやんか(それでよろしい) 言うのに まあ ええど、上等やれ(だ) 言うてな ま そのぐらいでよろしい。

ええとこ【名詞】 1) よい所(四、安) 2) 良家 金持(一、北) [会話] 1) わがとな(自分が) 好きで、あしこい(あそこへ) 行きたいなあ思う所な(が) あると、エエトコや(だ) 言うて。仕事さがして貰るても(貰らっても) エエトコさがして貰るて(貰らって)、エエトコい(に) 入ったてやら(とか) 言うて、エエトコ言うのな(のです) ええ会社い(へ) 入ったなあ言うのを エエトコい(に) 入ったなあ言うて。2) 金持屋や何んや エエトコ、金持屋で財産な(が) 有るとこい(所へ) 嫁ん(に) 行くと エエトコい(に) 貰るてもおたなあ言うて。

ええとし(好年)【名詞】 1) 年末 年始の挨拶 2) 相当の年配でありながら いい年をして、軽蔑の語 いとしの変化した語 エエトシからげて(上、阿) [会話] 1) 正月の今年や(は) エエトシ とれるよおん(取れるように) 言うやんかい(言います)。いいお年を エエトシや(だ) 言うて。2) 又、エエトシカラゲテおって(居て) あげな(あんな) 事言うて。あいな(あんな) 事より 言われやせんね(言えないのだ)。たいがい(相当) のかず(年齢) に なっておって何んも(何も) 知らん言う事やるな(でしょう)。すがいで絡げるよおん(に) して居って 言うやんかい(言います)。すがい言うてなあ なあ(綱) で ざらざらっと なうんやんかな(なうのです)。打たんとあ

る藁で さあさあと のおて(なつて) 真中でからげて(結んで) なんやかや 縛るのおを。

ええとしからげて かなりの年齢で有りながら ええとし参照

ええとしとれえ 年末の別れる時の挨拶 [会話] しよんがつ(正月)、節季んな(に) エエトシトレエ言うてなあ 年末の言葉でな おつごも(大晦日) の言葉やな(です) エエトシトレエ 言うて。

ええなあ 1) 立派だ 好ましい 2) よろしいか(張) [会話] 1) こやどいらい(これは大変) エエナア お前のこの着物 どいらいエエナア言うて、すとな、ええやんない(するとよいでしょう) 言うて。どいらい がらなよおて(模様が好くて) エエナア 言うて、ええやんない 言うて、自慢することやな(です)。エエナア で立派や(だ) 言うのと、2) これ持てても(持っていてても) エエナア言うて、貰るてても(貰らっていてても) エエナア、ええかい(よろしいか) エエナア 言うとはい 持てけえ(持って行きなさい) 言うてなあ、ええかいとか、エエナアとかなあ。

ええない よろしい 構わない(志(布施田))

ええなか【名詞】 よい仲 男女の仲を主に言う(南) [会話] お前とだ(強調) 彼氏と エエナカやな(だ) 言うて、彼女と逢うのを そげん(そんなに) 言うのも有るし、で(それで)、友達で あいら(あの人達) エエナカでなあ言うのも有るし。

ええなはむ 鯛が群れを作った

ええなほおた 鯛が集まって海面上を跳びはねること [会話] エエナホオタ言うて、鯛な(が) ぴよんぴよん 沖で跳んでくね(で行きます) エエナホオタ言うて、それい(へ) 追わえてて(て行つて)。

ええなり【名詞】 よい格好 容姿を整えた姿 なりは、なりふりのなり [会話] かつこよおしとると(格好よくしている) エエナリして言うて、言葉でも エエナリ してまあ ええことば 使こて(使つて)、着るもん(物) でも、かつこ(格好) でもな ええふうしとると(格好している)、あや(あれ) エエナリして何処い(へ) 行くねやかな(行くのだろうか) 言うて姿、格好が ええ。

ええにもわりにも 好いにつけ悪いにつけ、すべて

ええね 1) 要らない 2) よろしい [会話] 1) いらん(いらぬ) 言うことやな(です)。私もう ええわい言うやんない(言うでしょう)。まあ エエネてや(よいのです) 言うやんかい(言います)。要らんと なん

でもかんでも (どうしても) くよ (呉れよう) 言うど
エエネてや (いりません) 言うて。

ええねかい 宜しいですか。構いませんか。

ええねけど かまわないが。よいのだが。けどはけれど
もの略 [会話] ええけどだ 言うて、しょことなしん
みたよん (仕方なしにのような) 言う事やかなあ (で
しょうか) ええけどだ言う事は、エエネケド ええん
けど ええけどだ 言うのは、言うど なんやら (何
か) しねなある (わだかまりがある) よおな言い方や
な (です)。許してやりたいよおな、そげん (そんな
に) 言うても 許したらなはざんかな (てやらなければ
いけないか) と言う様な そお言う様な時やな (で
す)。どにままた (路に迷った) よおな言い方や (で
す)。

ええねてや 1) 要りません 2) よいのです [会話]
2) がいん (大変) エエネテヤ。お前げん (家の) とお
やん (父) ぐあいなわりんて、やんかい (病気が悪い
そおですな) 言うたや (たら)、はい まあ がいん
(大変) エエネテヤ 言うてな、よおなつて (良くな
つて) 来ると、よおなつて来て エエネテヤ言うて。
1) わがと (自分) 物な (が) いらん時 ええてや言う
て、いらん、いらんねてや 言う事を エエネテヤ言
うの (のです)。わしげや (私の家は) そんで (それ
で) ええてや 言うて、そげん言わんと (そんなに言
わずに) もおちよいと持てけてや (少し持って行きな
さい) 言うたや (たら) まあ エエネテヤ。

ええねない よろしい

ええのに。ええのん よいのに。要らないのに。(南)
[会話] こんでエエノニ、こんで要らんのに (ないの
に) 言う事や (です)。これも 持てかかんかい (持って
行きなさい) 押し付けると、ま エエノニ言うて、要
らんのに (いらなにのに) 押し付けると、ま エエノ
ニ 言うて 要らんのに言う事をなあ、エエノン ま
あ 言うて。そのにげん (人間に) よつて 同しな意
味の事を いろいろと言ひ方な (が) 違うもんでな
ええねてややたら (だとか) ええてや たら ええ言
うのん (いらない言うのに) たら、こんでええ言うの
ん もてけ (持って行け) もてけ 言うて、こや 貰
ろて 来たれ 言うてな。

ええひいやなあ。ええひいやのお 1) 晴天の日の挨拶
(志、鳥、松、伊、北) 2) 日柄のよい日 [会話] 2)
エエヒヤナア 言うのは ひがら (日柄) のええひ
い (よい日) を、エエヒヤナア。1) 天気な (が) え
えと (良いと) エエヒヤナオ 言う、何んやかやよ

け (沢山) 貰ろて (貰らつて) 今日は ええひい や
つたなあ (だった) 言う。

ええひいんなつて 晴天になつて

ええひと【名詞】 1) 情夫 情婦 (上、阿) 2) 恋人
(四) 3) 立派な人 [会話] 3) エエヒト 言うな (の
は) あのひた (人は) まあ どいらい (大変) 心な
(が) エエヒトやなあ (だ) 言うて、おとなして (大
人しく) エエヒトやなあとか、何んでも人の世話して
呉れて あの人 エエヒトやなあ 言うて。人柄のエ
エヒトを エエヒトやなあ (だ) 言うて。1) 彼氏かい
(彼氏ですか) エエヒト言うて、むけてしやじけて言
うて よお言うやんかいな (よく言います)。あの人な
(が) あつたやんない (有つたでしょう) 言うど、そ
いなもな (そんなものは) むけたわい 言うて、そして
なしたんどい (どおしましたか) 今しや (今は)、そし
たや (そおしたら) 今しや しけたわい 言うて、昔
あの人どあつたけど (が) 今はまあ 何もない 言う
事の意味やわい (です)。

ええひやなあ 好天気ですね。挨拶 (志、鳥、松、伊、
北)

ええひやのお 好天気ですね。挨拶 (北)

ええひより【名詞】 上天気

ええふり 1) 見栄つぱり 2) きれいな格好 [会話]
2) いいふりしとんの (して居るのを)、エエフリして
まあ言うて。綺麗なふり (格好) しとんの。

ええみせもん【名詞】 恥さらし (志 (布施田)) [用例]
あいな事して (あんな事して) エエミセモンやれ (だ)。

ええめ。ええめえ【名詞】 1) よい出来事 幸運 (度)
2) よい芽 [会話] 1) エエメエやなあ (だ) 言う、
なんかええことな (よい事が) 有るとなあ、エエメ
エやつたなあ (だった) 言うけどな (言います)。家がな
あ おちぶれたのが はんじよしいかけて (繁盛しか
けて) 来ると、まあ エエメエな (が) 出て来た。
2) 物、植えたり 蒔いたりしても エエメな (が) 出
て来ると エエメな出て来た言うしな (言います)。人
も ちよいと (少し) 運な (が) 向いて来るとな、め
えなつて 来たなとか、エエメん (に) なつて来た
なとか言うてなあ。

ええめえわく 大変迷惑だ [会話] 迷惑言うのも エエ
メエワクやなあ (だ) 言うて、物凄いいわく言う事
やろなあ (でしょう)。

ええめみせやせん よい目を見せない。病気などがよく
ならない。(志 (布施田))

ええめんあう 1) 幸運に出合う 2) 大変ひどい目に

合う [会話] 1) ええ (よい) ことに巡り合う事言うんやろな (言うのでしょうか)。そやけど 2) わりときも (しかし悪い時も) エエメニオオタ言うの (のです)。どいらいわり事 (大変悪いこと) しやれた (された) 言う事も、エエメニ オオタンよお (逢ったのだ) 言うて。大変な事に おおたんよお (逢った) 言うのを エエメニ (に) オオタネよお 言うて 言う時もあるなあ (有るのです)。ええ言うのな (のが) 大変言う事やな (です) 大層とか言う事やな (です)。

ええもん 1) 良い物 立派なもの (志 (片田、浜島、鶴方)、員、上、阿、張、名、南) 2) 構わない 3) いらぬ 不要である 4) 間食 おやつ (張) [会話] 1) エエモン (物) 言うな (のは)、なんでも じっぱなど (立派であると)、おおた こいな (こんな) エエモン呉れて言うやんかい (言います)。よい物言うのを エエモン言うの。エエモン もおてなあ (貰って)。どおでも ええ (よい) 言う時にも使う。2) なったとなっても (何となっても) ええわ 言う事やろな (でしょう)。そいな (そんな) 事 言われても おら (俺) エエモン言うて。だんない (構わない) とか。3) おら エエモン言うのは いらん (いらぬ) 言う事や (です)。

ええやか。ええやかな よいだろうか よろしいだろうか (尾) [会話] あやうんどる (危ぶんでいる) 事な (です)。こんで (これで) エエヤカナ もおちよいと (少し) しゅうぎ (祝儀) も、はりこまな (多く出さなければ) こんで エエヤカナ 言うて、何んやかや人ん (に) 物やる時ん (に) このぐらいやつても エエヤカナ、すけないかんじな (少ない感じが) する時 エエヤカナ言う時な (が) 有るわい (有ります)。

ええやろ。ええやろど。ええやろん よいでしょう
ええやんか。ええやんかあ。ええやんかい。ええやんかな (女性語) よろしい。よいではないか [会話] 物こしらえてても (作っていても) こんでええかいのお (これでよろしいか) 言うて、エエヤンカイ 言うて。

ええやんかれ よろしい (度) [会話] そんなで (それで) エエヤンカレ 言うて、まだ これせなはざんかい、てや (しなければいけないかと言えば) ま そんなで (それで) エエヤンカレ 言うてな。もおちよいと (もう少し) せなはざんか (しなければいけないか)、こんでええか (これでよいか) 言うて ま、そんなで エエヤンカレ 言うて。

ええやんこ。ええやんこお よろしい。よいではないか。(志 (浜島)) [会話] ええやんかれ と 一緒の事や

わい。友達ん (友達に) 言う時なあ (です) エエヤンコ まあ こんで (これで) 言うて。昔の友達や (友達には) そげん言よおった (そんな風に言っていました)。今しゃ (今は) ええやんかい 言うて。

ええやんな。ええやんない 1) よいでしょう 2) よろしいか 許しを求める時 自慢する時に使用 [会話] 1) そや (それは) エエヤンナイ言うて、ええやんか (よろしいです) 言うてなあ (です)。いいやんか言う事や (だ)。

ええゆ [名詞] 英雄 えいゆう (三重県全域)
ええゆうのん 1) よいと言うのに 2) 要らないと言うのに 要りません [会話] 2) そのこげん (人に) よって 同じ意味の事を 色々と言い方な (が) 違うもんで (ので) ええねてや やたら (とか) ええてやたら エエユウノン たら。こんで (これで) エエユウノン もてけもてけ (持って行け) 言うて、もろて (貰らって) 来たれ (た) 言うて。

ええよ (えいいう) [名詞] 1) 高い位置につき富んで勢力の強い事 2) おごった ぜいたくな生活をする事 えいようする ぜいたくする (阿、張、名) [会話] 2) エエヨ言うのは、栄耀栄華言うて。栄耀栄華して 贅沢もんな (者が) 言うやんかい (言います)。贅沢な事を。ううたまあ (ああ)、若い時や (時は) 栄耀栄華したけど (けれど)、いましゃ (今は) 憐れやれ (だ) がしがしやれ (餓死だ)。今はなにがし 憐れがしがし。

ええよお (えいいう) [名詞] 栄養
ええよおに 適当に、思い通りに、ええよおん参照
ええよおする 贅沢する
ええよおのやま [名詞] 贅沢三味

ええよおん 良い様に 適当に 思い通りに [会話] エエヨオン言うのは、いいよおに言うのを、エエヨオンせんかい (しなさい) 言うて。こんでええかい (これでよろしいか)、これ などしよおどいてや (どおしましようかと言へば) のな (お前が) エエヨオンしとかんかれ (しておきなさい) 言うてなあ。明日も こおかいな (来ようかな) などしよおかいな (どおしようか) 言うて、ええやんかい 来てても言うてな。エエヨオンせんかいだ (しなさい) 言うて エエヨオンせえ言う 好きなよんせえ (ようにしなさい) 言う事やな (です)。

ええよおんしええ 好きなようにしなさい 適当にしなさい [会話] ええよおん言うのは いいよおに言うのを。エエヨオンシエンカイ (しなさい) 言うて、こん

でええかい (此れでよろしいか)、此れなとしよおどいてや (どおしますかと言えば) のな (お前が) エエヨオン (に) シトカンカレ (しておきなさい) 言うて。

ええよってん 1) よいから 好いから 2) 要らないから [会話] 1) エエヨッテン言う事を、いいから言う事

ええわ 1) 要りません 2) よろしい (鈴市、一、張、名)

ええわい 1) 要りません 結構です 2) よろしい (志、北)

ええわな (女性語)。ええわら。ええわれ 1) 要りません 結構です 2) よろしい 同等以下の者に [会話] 1) 要らん言う事を エエワレ言うて。エエワイと一緒で、よろしいわい (です) 言うの (のを) エエワイ言うて。それ もてかんかい (持って行きなさい)、エエワレ 言うて。そやけど (しかし) もてきやええやんか (持って行けばよいのに) 言うて、そしたら もろてこかいなあ (貰って行きましょう) 言うて、おええわ (よろしい) もてけ (持って行け) 言うて。

ええん 【名詞】 歩く事 幼児語

ええんえんえん 【感動詞】 泣き声

ええんか。ええんかい。ええんかいなあ。ええんか (女性語)。ええんかれ よろしいですか

ええんけど かまわないが よいのだが けどは、けれどもの略 ええんけど参照

ええんてや よいのです [会話] お前家ん (の) とおやん (父さま) 具合なわりんでやんかい (病気だそうですが) 言うたや (たら)、はい まあ がいんよおなつて (大変よくなって) 来て エエンテヤ言うて。

ええんやれ よいのだ [会話] そんだけのもん (それだけの物) とんのん (取るのに) ちよいと (少し) てえ (手) 伸ばしや (伸ばせば) エエンヤレ。

ええんやろ よいのでしょうか よいでしょうか よろしいやろは、だらうの変 [会話] そんなで (それで) エエヤロン 言うて、あやぶんぶんどん (疑問に思っている) のを、こんでええかいな (これではよろしいか)、こいな (こんな) 事して ええんかいてや (よいのですかと言へば) そんなで (それで) エエンヤロン言うていいでしょお 言う事やな (です)。

ええんやろん よいでしょう よいでしょう

ええかい よろしいか (志)

ええおよし (笑顔良) 【名詞】 いつもにこにこして居る人 愛想のよい人 [会話] エガオヨシ言うのは、にこにこしとんの (して居るのを)。にこにここと機嫌な (が) え

え (良い) 言う事やなあ (です)。

えかげ 【名詞】 1) 大変 2) 程々に いい加減 (伊)

えかげな 【形容動詞】 1) 大変な 大変に 2) 出鱈目 雑把な (鳥、熊)

えかげなこと 【名詞】 1) 大変なこと 2) いい加減なこと 程度の甚だしい事 でたらめ (志 (布施田)、上、阿、熊) [会話] 2) エカゲナコト言うてまあ、言うてな。あてすつぽおみたよな (のような) 事を言うて、エカゲナコトばっか (ばかり) 言うてまあ 言うて。嘘やら本当やら判らん様な事を、エカゲナコト、あや (彼は) 言うとなねど (言っているのだ) 言うてな。えごと (完全に) 判らんと居って、えっころかげんにあやどおやれ (彼はどうか) あやこおやれ (あれはどうか) 言うてまあ、つかみどこな (掴み所が) ないよん (ように) 言うて エカゲナコト 言うてまあ 言うて。

えかげに (好加減) 【形容詞】 1) 程々に 2) その場限りで無責任なこと (鳥)

えかげん。えかげんな 【形容動詞】 1) かなりな程度に行って居る。ほどほどにしたいさま ええかげん参照 (三、鈴市、張、伊、南) 2) 大変に (上、阿)

えがぞ 【名詞】 むつかしい事を言つて、人を困らす人 ごねる参照 [会話] むつかし (難しい) 事ばっか (ばかり) 言うてる人 (言つて居る人) を、ごねぞやとか (だとか) エガゾやとか (だとか) むつかし人を エガゾ やなあ (だ)。

えがほう。えがはむ ええさす参照 1) 喧嘩する 2) 鰯が群れを作る [会話] 2) エガハム 言うな (言うのは) 鰯が飛ぶのを えがはむた (奮) 言うて。1) 喧嘩しても エナホオテナあ、あのうちや (家は) よんべや (昨夜は、ゆうべ) 言うて。喧嘩すると よんべや エナ (ガ) ホオタ 言うわい (言います)。鰯な (が) はねあがる (跳ね上がる) あらべて (暴れて) 飛びさがすのを 言うねやろな (言うのでしょうか)。あのうちや やうちな (家内一同) 口喧嘩したりしとると (して居ると) エナホオテ まあ よんべや がいな (大変な) 賑わいやった (だった)。

えがらい (辛) 【形容詞】 刺激されて喉がいらいらした感 してである。えぐくて辛い

えがる 【自ラ五】 病弱の幼児がぐずぐず不機嫌な事 [会話] 子供な (が) エガル事をなあ、エガッテ まあ このかあ (この子は) 言うやんかい。甘えていじる (困らせる) 事。

えきびよお (えきびやう) (疫病) 【名詞】 悪性の伝染病

流行病 厄病とも

えぎらい ひどく嫌う事 (南) [会話] あのうちや (家は) 嫁さん からくつものおて (捜しても無くて) こぶつきでも 貰わな (なければ) 言うて そやよつて (それだから) エギライ 出来やせん (出来ません) こぶも きらわれん (嫌われません)。

えぐい (酸い) 【形容詞】 1) あくが強くて喉を刺激するような味や感じがする (志 (布施田、立神)、一、多、張) 2) 意地悪だ 大変刺激的である。肺腑をえぐるしんらつだ (志) 3) ひどい (志 (甲賀、国府、安乗)、松) [会話] ¹⁾ 里芋を食うたり (食べたり) 里芋のずいきすると エグイ言うて、口な (が) いらいら、苦い 言うねなし (言うのでなくて) 舌の方な いらいらすんの (するのを) エグイ。あくの強いもん (物) を 舐めて見よえ (見なさい) 舌な (が) いらいらつとすんの (します)、そんなのおを (のを) こや (これは) エグイ言うの。エグイモやなあ (だなあ) 言うて。エグイのおな (のが) 有るやんな (あるでしょう)。芋でも 舌 乗んに (乗ると) ちゃらな (様子が) 違うんてや (違うのです)。じゃが芋でも そいなんな有るんてや (そのようながあります)、エグイのおな (のが)。里芋は よけ (沢山) 有るけど (有ります) エグイのおな (のが)。²⁾ 人も使うし (人にも使いますし) あの人 は エグイ人や (だ) 言うて、意地の悪り (悪い) 事言うたり (言ったり)、腹な (が) 悪りかたり いじくさり (意地悪) するひた (人は)、あの人 あ エグイナア 言うて、意地の悪り (悪い) 人を。

えぐいも 【名詞】 苦い芋 里芋 えぐい参照 (員、三、四、鈴市、南)

えぐしない 【形容詞】 程度がひどい 途方もない 大きい (志 (越賀)) [会話] エグシナイ 今日は大漁やつた (だった) 言う時も有るな (有ります)。エグシナイ多い言う事やなあ (です) ものすごい言う事やるな (でしょう)。

えぐる (袂) 【他ラ五】 1) 刃物などを物につきさしてその部分をくり抜く 2) 指でひねる 3) あくの強い味で喉を刺激する [会話] ²⁾ エグル言うな (のは) 爪 やなしん (でなくて)、指の腹で みい (身、肉) を ねじんのおを (ねじるのを) エグル言うて、口 エグッタロカ (てやろうか) 言うて、口 ねじるやんない (でしょう)。

えぐれとる 物の表面などに穴があいて居る

えげつた 【自ラ五】 1) 困った。大変迷惑した。弱る。疲れる。2) 飽きた。飽食した。満腹である。充分で

ある。(志 (磯部、神明、畔名、浜島)) [会話] ¹⁾ おおた (ああ) 今日 は エゲツタよお、疲れた ものすごお (ものすごく) 疲れた言う事やな (です)。かいだり (かいだるい) 言う事 今日 は まあ あれしたや (したら) エゲツタよお 言うて。

えげつな。えげつない 【形容詞】 度を過ぎて露骨に表現する事 いやらしい やり方に思いやりや、人情味がない。情け容赦もなし 残酷だ 辛辣だ いやらしい ないは強調 (志摩市全域、鳥、上) [会話] エゲツナイ言うて あくどい言う事や (だ、です)。あやまあ エゲツナイんよつて (ないのだから) 言うて、あくどい事言うたり (いったり) したりするとな。あんまりよくぼつたり (余り欲張ったり) するとなあ あや エゲツナイんよつて。

えげる 1) 飽きる えげつた参照 (志 (名田、畔名、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)) 2) 疲れる (志 (甲賀)) [会話] ²⁾ エゲル エゲツタ言うて 弱つた言う事をな おおた 今日 は まあ 仕事な (が) えろおて (大変で) エゲツタナア言うて。えらかつた (大変だった) 事 を エゲツタ言うて、物凄お くたびれたことをな、エゲツタよお言うて。¹⁾ 芋飯ばつか (ばかり) で、エゲル。ごつおよけ (御馳走沢山) 出して来て エゲル程 よばれた (食べた)。

えごころ (絵心) 【名詞】 絵に対する 興味 描いたり見たりして楽しむ気持ち、絵のたしなみ [会話] エゴコロな (が) あって あの人 ええ (絵) な 上手で言うて。

えごつと よい具合に 立派に 完全に ごと ごつと 形容詞上に修飾語を伴って どんな事柄であるか限定される (志 (国府、安乗)) [会話] エゴット言うのは、ええ (よい) よおにした言う事やけど (だが)、いいよおにした言う事。なんやかや、もおても (何か貰っても) 札 (御札) 言うのん (のに) 家いたら (行ったら) 爺やんも 婆やん (さん) も エゴット 言うて いてくれえ (言っておいて下さい)。あんで (あれで) その時んは (時には) ものすご喜んだ言うて呉れえ、エゴット 言うて いて呉れえ、おおきんえ (有り難う) 言うのは 普通やけど (ですが) 爺やんらも エゴット言うて いて呉れえ 言付ける言葉や (です)。

えごつとこさえる。えごつとこしゃえる。えごつとする 完全に仕上げる 完成させる 立派に作る (志) [会話] 上手にする言う事をな エゴットスル言うて。えごつとせなはざんわれ (しなければいけない) エゴツ

トコサエエマア言うて、上手せい (しなさい) 言う事を えごつと言うて、エゴットコシヤエル言うのは立派になあ、する言う事を エゴットシテ言うて、えごとせえよお (しなさい) 言うて、まあ、えごと言うて ざっぱ (雑) な事せんと (せず)に 綺麗にせえ言う事やるな (でしょう)。エゴットセナハザン (しななければ駄目だ)、エゴットセエヨオ、エゴットシトケヨオ言うと ま 立派せえよお 言う事や (です)。

えごつとさがしてみよ よく探しなさい。えごとさがしてみよ参照

えごつとたのむ よろしく頼みます よくお願いする (志) [会話] エゴト タノドイテコイヨオオ (頼んでおいて来なさい) 言うて、くれぐれも 頼む言う事を えごと あの家行てなれ (行て) エゴット タノドイテコイヨオ言うてな。

えごと えごつと同じ 完全に 充分に 立派に (志) (布施田、甲賀、鵜方、神明、立神、国府)

えごとさがしてみよ 充分に探しなさい [会話] 無いわ (有りません) 言うて、エゴトミテミヨ 其処らも言うて。エゴトサガシテミヨ言うて。よく見よまあ (みなさい) 言う事を エゴトサガセ言うて。何か探しても 何処其処 見て見よ言うたや (見なさい言ったら) なんも (なにも) 探しても無いわ (有りません) 言うたや (たら) エゴトサガシテミヨ 言うて。

えこひいき ひいき (依古鼻) 【名詞】自分の気に入っている者や 関係ある者だけの肩を持つ。依古 一方だけの肩を持つ事 不公平 頼りにする事。鼻 気に入った人に 特に目をかけて世話をする事 気に入った者を特に可愛がる事 目にかけて可愛がってくれる人 [会話] エコヒイキ言うのは わけへだて。

えさ (餌) 【名詞】 1) 食事 飯 食べ物 2) 人を誘惑するために提供する金品 [会話] ¹⁾ こびる (軽食) 喰わなはざん (なければいけない) 言うて 昔や (は) エサな (が) わりかったもんで (悪かったので) 腹な (が) へるもんで。

えさかい 【名詞】 鯉漁の餌にする鰯を買い付ける人。お かまわりとも [会話] エサカイ 鯉の餌買い 鯉船の。

えさかいにない (餌買担) 【名詞】 活き鰯を入れて運ぶ大きい担い桶 [会話] エサカイニナイ、餌 買う時ん (に) だけで、つね (平常) は 家の勝手 (台所) へは 使はせん (使いません) おつきなのな (大きなのが) 有って。それ持って餌、担いに行きおったわい (行て居ました)。

えさかえ 【名詞】 生簀から鯉釣りの餌にする鰯を持って

釣る人に配る役目の人 [会話] エサカエ言うて かんこ (生簀) から たま (網) でもって えさ (餌) かける人。

えさかぶる (餌) 1) 餌を使い切る 2) 餌を積み込む (生き餌 鰯を積み込む) [会話] ¹⁾ エサカブル言うのは えさ (餌) をつこた (使ってしまった) 言うのやるな (でしょう)。ひとかめ (一廻) かぶつて来た言うやんかい (ます)。ひとかめ言うのは かんこ (船中の生け簀・生け簀) へ、いけとくやんない (生かして置くでしょう)。浦 (英虞湾) から 鰯をひとかめふたかめ言うて へきつて (区別して) あつて、ひとかめ かぶつて来た言うやんかい。つこた (使ってしまった) 事を言うんやるな (言うのでしょう)。しまい (終) になった事を。ひとかめ つこて (使つて) 来た。えさじまい言う事。えさしもたよお (終わった) 言うて はよ (早く) 帰つてくると。

えさじまい (餌終) 積み込んで行つた餌鰯を全部使つてしまう事 [会話] ひとかめ つこて 来た。エサジマイ言う事、餌しもたよお (終わった) 言うて、はよ (早く) 帰つてくると、えさな (餌が) 無いよおんなんの (なるのを)。ひとかめ ふたかめ 言うのなあ (のです)。かんこん (生簀に) 一杯 えさ (餌) を するとひとかめ使こた、ふたかめ使こた 言うてな ひとかめ ふたかめ言うて。エサジマイ えさな (が) 無いよんなんと (ようになると) エサジマイ言うやんない (言うでしょう)。

えさだい 食事代 食費 [会話] 飯の事を 餌や (だ) 言うて、エサダイも 置かんと (置かずに) 言うて。

えさとり (餌取) 【名詞】 えさばかり取つて釣針にかかからない魚 [会話] エサトリてや (とは) 魚釣ると 河豚な (が) 来て えさを 取つてくのも、エサトリや (です)、ふぐのエサトリ言うて。魚 釣つとると (てい) そのえさを、皆 ふぐな取て (が取つてい) 魚 くわんとすんのを (喰わえずにするのを) エサトリ言う。

えさば (餌場) 1) 鯉釣りに餌になる活きた鰯を積み込む場所、又、活かしておく場所 2) 食料を採る所 [会話] [会話] ²⁾ 畑の事は そんな (それが) エサバやよつて (だから) 大事んしよおったわい (にして居ました)。

えさばこ (餌箱) 【名詞】 魚釣りなどに用いる餌を入れる箱 [会話] エサバコ言うな えさ 入れる箱。から (歩いて) 行くん (は) かばんみたよなの (ののようなのを) 掛けて行くやんかい (行きます)。エサバコ 昔

あげなな、ないけど (あんなのは無いが) 昔 手桶言
うのな (が) 有って 手桶で 虫 (ごかい) 掘りん行
きおったやんかい (に行って居たで有りせんか)。あれ
は 鯛釣んのん (釣るのに) むし (ごかい) ほりん行
きおったの (に行って居たのです)。うず (いさぎ) 釣
ったりすんのも (するのもの) 行きおった (行ってい
ました)、たいむし (ごかい) 掘りん (に) 行きおったんて
や (いって居たのです)。がにだいや (だ) とか言うて、
がに (蟹) 取りん (に) 行くと 鯛釣る時 たあ
(田) のがにを 取りん行きおったの。手桶言うのな
(が) 有って かたつほな (片一方に) 持つのな 有
って それい入れて うず釣りん (に) 行くのん (の
に) 掘りん行きおったんよお (に行って居たのです)。

えさひろおや 食事にしましょう [会話] 御飯 たべえ
(食べなさい) 言うのを めし喰え めしくおやんか
れ (食べましょう) 言う時もあるし、エサヒロオヤ
言うて 餌 ひろたらんかれ (拾いなさい) 言うて

えざめ 【名詞】 鮫 ほうじろ鮫 つまじろ、ネズミザメ
科の大型の鮫。体長9mに達する。体は紡垂形で、背
方は青灰色、腹方は白色で、性質は荒い。

えじき (餌食) 【名詞】 食料 食物 [会話] 田舎のど (強
調) 淫売 お粥な (が) エジキ、さい (副食) な ひ
じきで、親方 乞食。

えしゃくない 【形容詞】 大変だ 大変な 酷い えっし
ゃくない 会釈ないか [会話] エッシャクナイ おっ
きいのやなあ (大きいのだ) 言うて、大変 言うこと
やなあ (です)、エッシャクナイ言うな (のは)。今日
の鯉のかかりかた (釣れ方) エッシャクナイ かかり
かた した言う。どっさりとか 大変とか 今日
はエッシャクナイ大漁やった 言うて、えらい (大変)
大漁やった (だった) 言うの (のを) エッシャクナイ
大漁やったよお (でした) 言うて、エッシャクナイ言
う人もあるし エッシャクナイ言う人もあるし その人
よって 同じ言葉やけど (だが) 力入れて言う人。漁
師の人ら (は) エッシャクナイんど 言うて、今日は
エッシャクナイ しおな (海流が) はやかったてやら
(とか) 言うて 風がものすごお きつく吹く時でも
エッシャクナイ風やなあ (だ) こやまあ (これは) 言
うて 大変とか言う意味やなあ。

えしれん (得不知) 1) 素性 正体 内容のわからない
えたいのしれない 2) 根拠のない 3) 計りしれない

えしれんこと (得不知事) 【名詞】 わけのわからない事
えしれんほど (得不知程) 非常に沢山

えせしむ うらやましがる

えせまれる 憎まれる 憎まれて仲間はずれにされる
えせむ参照

えせみだす 憎んで仲間はずれにする えせむ参照

えせむ 【他マ五】 1) うらやましがる ねたむ (志摩市
全域、鳥(鳥羽)、鈴市、安、津、一、多、上、阿、度、
伊、北、尾、南、熊) 2) 嫌う [会話] えせむ エセム
言うのは あや (彼) すかんよつて (好ましくない、
好きでないから) 入れまいや (仲間に入れないでおこ
う)。きろてきろて (嫌って嫌って) のけもん (除け
者) にして、エセミダス言うて。皆に嫌われる事を
えせみ出された言うて、エセマレテ言うて。嫌われる
事やなあ (です)。

えせらわらい (えせらわらひ) (似非笑) 【名詞】 相手を
侮るように笑う せせら笑い、陰で笑う事 えせ 似
非 似而非 似ては居るが本物でない。名目や外見だ
けで実質を備えてないさま [会話] エセラワライ言う
のは、あげな (あのような) 事して うそみつともな
い (大変見苦しい) あんでええ (あれでよい) 思とん
ねど (思っているのだ) わがた (自分は) 言うて、陰
で笑う事なあ (です) エセラワライ。

えそ 【名詞】 エソ科に属する海魚の総稱 あかえそ エ
ソ科の海魚。体長約25cmでマエソに似るが背面は
灰赤色をしている。かまぼこなどの原料になる。(志、
鳥)

えだ (枝) (肢) 【名詞】 もとから分かれたもの 又、そ
のような形をとったもの (南) 1) 木の枝 梢 (南)
2) 本家から見た分家 3) 親から見た子 4) 胴か
らみた手足

えだ (鰓) 【名詞】 鰓 魚の鰓 (えら) の訛り [会話] エ
ダ 言うて、ほがいのとこ (所) に 有るやんない
(でしょう)、へらべったあいの (平らなのが) あんな
(あれを) あぎ言うの、あぎや、エダは つね (平素
は) 放ったる。ほがいの言うな (のは) 鯉のかったあい
(堅い) てえ (手) 切るとこな (所が) 有るやんな
あれを 言うね (言うのです)。エダ 言うて あれの
ちい (血) を しぼんの (しぼるのです)。しよつから
(塩辛) は あれ 入れらつたら (入れなかつたら)
美味ないの (のです)。あごたに有んのを エダ ぎざ
ぎざなあるやんない (が有るでしょう)。エダ言うな
(言うのは)。

えたい (得体) 【名詞】 ものごとの本質 実態 正体 比
喩的に ものごとの本当の所 これといったはつきり
したもの

えだぎ【名詞】 小枝のたきぎ 木の枝

えだはらう 枝を切りはらう 刃物で枝を切る [会話] 枝もぐ 同し事すんねけど (するのだが) 手で へしよおんな、へしよつたれ (折るのは、折ってやれ) とか、もんだれ (もいでやれ) とか言うし、切るもん (物) で する時は ハロタレ。

えだまめ (枝豆)【名詞】 大豆 あげ豆 味噌豆 あき豆 参照 [会話] 今し (今5月頃) とれる 豆な (が) エダマメ、6月んとれんのは (取れるのは) みそまめ言うん なしなあ (言います) 今し さや (鞘) で 食うのん (食べるのは) エダマメ言うの (のです)。

えたれ【名詞】 かたくち鯛 カタクチイワシ科の海魚。全長18cmに達する。背面は暗青色 腹面は銀白色、口は大きく上顎は下顎より長く丸く前方に突き出す。鰹釣りの生き餌にする。稚魚はいりこ、しらす干しにする。えたれ鯛 えいわし (志 (布施田、甲賀、鶴方、立神、安乗)、鳥 (石鏡)、度、尾、鈴市、北) [会話] 鯛や (です)。口な (が) おっきい (大きい) と エタレイワシ みたいなあ (ようだ)。口な (が) おっきいにげな (大きい人間が) エタレイワシ みたいな (ような) 口しとる (して居る)。

えちおびや【名詞】 魚 ひれじろまんざいうお シマガツオ科 ヒレジロマンザイオ属 体は大きくて硬い鱗で覆われ、それぞれの鱗は一棘をそなえる。背鰭と臀鰭の前部は葉状に突出して高いが成長に伴い、その形態や高さは変化する。また両鰭は鱗で覆われる。眼の上方と後方に無鱗或は無い。成魚は側線が無い。

えちやる 外股で歩いて居る [会話] 品な (格好が) 悪うて (くて) エチャカッテ 歩いとる (て居る) 人も有るし、足 引き摺って 歩いとる人もあるし (有ります)。

えつき (餌付)【名詞】 魚の餌を食べる状態 [会話] とりやま (鳥の群) 見つけて したや (したら) エツキな (が) よおて (よくて) 言うて、えさ (餌) を よお食う (よく食べる) 言う エツキな (が) ええ (よい) 言うて。

えづき (えづき) (嘔吐)【名詞】 吐きもどす事 嘔吐

えつきすあるき (X歩)【名詞】 X脚の人の歩く格好 [会話] エッキスアルキや (と) 言うて すねな (膝が) 中い (へ) かっこんどるのおな (曲がっているのが) エッキスアルキ。

えづく (嘔吐)【自カ五】 嘔吐する 胸がむかつく様な感じだ 不快だ (志 (布施田、浜島、鶴方、甲賀、神明、立神、志島、国府、安乗)、鳥 (鳥羽)、上、阿、張、

北、尾、南) [会話] エヅク言うのは えっ えっ げえ申す (嘔吐する) 事を、はらみどな (妊婦が) あや (あれ) はらんだんのかして (妊娠しているのか) エヅイテ。

えつけ (餌付)【名詞】 一定の場に餌を撒いて魚を寄せ集める事。

えっころかげん いい加減 出鱈目 (志 (布施田))

えっころかげんな 雑な

えっさっさ【感動詞】 1) 物をかついだりして 調子をつけて 走る時の掛け声 物を担う時 (員) 2) 担うこと [会話] ₂) 駕籠かきな (が) エッサッサ、あかまめこい言うて、しおったやんない (して居たでしょう)、そやもんで、かずく (それで、担う) のを エッサッサ言う。

えっさらこいさら【副詞】 どうかかこうにか 苦勞して [用例] これすんの (するのに) エッサラコイサラ やった (だった)。

えっしゃくない【形容詞】 ひどい 大変に 大きい えぐしなと同様に使用される。えっしゃくない参照

えっち【名詞】 禪 えっちゅう (志 (片田)、南)

えっちふんどし【名詞】 越中ふんどし (度、南)

えっちやり 足を外側に向けて歩く 外足 そとわ、ひっちゃかり ひっちゃける ひっちゃかる 外側に開ける (志) [会話] 内股な (が) 擦れて、エチャカッテ 歩くね (のだ) 言う。よお (よく) 肥えとると (ていると)、股ずれするやんない (するでしょう)、そすと すれるもんで (ので) エチャカッテ 歩くのな (のです)、股 開いて歩くのを エッチャカル言うて。すれて 歩かれんで (歩かれなくて) エチャカッテ 歩いとねよお (ているのだ) 言うて。

えっちやる 股を開く。外足で歩く。

えっちゅう (えっちゅう)【名詞】 越中ふんどし (名) [会話] エッチュウかい (越中ですか)。エッチフンドシや (は)、むこうから はずれて来る。越中からは やって来たんかいな (来たのでしょうか)、こや (これは)。三尺帯で紐付けたやつ。手拭みたいなのに (のようなのに)。

えって (える)【他ラ五】 1) 煎る 2) より分ける えらぶ [会話] ₁) 豆煎る 言わんと (言わずに) 豆エル 言うて。あられ エロヤ 言うて。₂) 物をよる (より分ける) 言うのも エル言うやろ (言うでしょう)。

えっぼど【副詞】 よほど 余程 よき程の転 程度の甚だしいさま たいそう 随分 (志 (御座、磯部、布施

田、浜島、鶴方、国府、安乗)、鳥(坂手 国崎)、桑郡、員、三、四、鈴市、安、津、久、一、松、多、度、伊) [会話] エッポド言うのは、エッポド阿呆やなあ(だ)。よほど言う事や(です)。エッポド あやあんごしんど(彼は馬鹿だ) あいな事(あんな事)言うて。

えっぼろ よほど、えっぼどに同じ

えて(得手)【名詞】 1) 最も得意とする事 又、そのわざ(志(甲賀、南) 2) 猿の漁民の怨み言葉 出るに通じる(志(甲賀、鶴方、神明、立神、志島、国府、安乗)、鳥、桑市、三、鈴市、鈴郡、安、津、久、一、松、多、上、阿、張、名、度、尾、北、南) 3) 勝手ぐあい [会話] ₃₎ エテナわりなあ(が悪い) 言うて。調子なわり 言う事。わがとな(自分が) 勝手なわり 言う事。調子な(が) あわんと(合わない)と エテナ(が) わり、勝手な(が) わり 言うて。₁₎ エテに帆上げる。追い手に風な(が) 吹いて来て、沖行くときや(時は) おいてな ええよつてん(がよいから) 言うのなし(言うし)、沖から くんのん(来るのに) まぜな(南風が) 吹いて来ると、おいてで エテに帆上げて言うて。おいて(おいて風、後方から吹く風) 言うのは、あらし(帆を揚げるのに丁度良い程の風力、強風) 帆へ ぼんと 来るやんない(でしよう)。それを言うの(のです)。風の事なあ(です)。₁₎ エテナ(が) 有って 言うて その人間の得意なことを エテヤ(と) 言うのなあ(のです) エテナわりなあ言うて。今日な(の) 仕事 おらん(俺の) エテン(に) あわせんわ(合わない) 言うて、わがとなよおせん(自分が出来ない) 仕事は、しいつけん(しつけない) 仕事は おら(俺の) エテン(に) あわせん 言うて。

えてえて(得手得手)【名詞】 各人の得意とするところ 人それぞれの長所

えてかつて(得手勝手)【名詞】 自分勝手な事をする [会話] わがとな(自分が) かつてのええよん(よいように)、わがとな 思うよおん(ように) したり 言うたりする事な(が) エテカッテ。

えてきち【名詞】 猿(員、松)

えてこ【名詞】 猿 えては猿 猿公 多くは去るを忌む 忌み言葉(三、鈴市、安、多、上、阿、張、名、南)

えてこい 得意わざ いつも 使用するもの、えて 参照(志(布施田)) [会話] エテコイ 言うな(のは)、あげな(あんな) 事ばっか(ばかり) 言うのを エテコイやよつて(だから) 言うて。のら(お前達) 喧嘩

すんのな(するのが) エテコイや(だ) 言うて。わるいもて(叱りながら) 使わな(なければ) はざんし(いけないし) わるいたり(叱ったり) たらしたり(なだめたり) おだてたりして、おだてもこい(へ) 乗せな(なければ) はざんし。

えてこます 得意になって居る こますはして居る えて 参照

えてとる 得意になって居る事柄 いつもする動作 慣れている(志(浜島、鶴方、神明、立神、国府)、北) [会話] 調子ん(に) 乗って あや(彼は) あいな事 すんな(あんな事するのは) エテトンネよつて(いつものことだから)、えてこいやてや(だ) あいな 事 すんな。あやまあ(彼は) あいな 事言うな えてこいやよつて(だから) 調子に乗んのをなあ(乗るのを)。

えてとんね いつもしているのだ 得意としている [会話] あいな(あんな) 事言うな(のは) エテトンネ、えてこいやよつてん(お得意だから) 言うてな、人になあ 嫌な事言うたり、冗談も言うたりすると、あいな事言うな(のは) エテトンネ 言うて。仕事でもなんでも 変な事すると あげな(あんな) 事すんな(するのは) エテトンネ言うてな。

えてなわり 1) 不得意である 肌があわない 勝ち目がない 2) 勝手が悪い [会話] ₂₎ エテナワリなあ 言うて、わがとな(自分が) 勝手なわり(が悪い)、調子な(が) わり言う事、調子な(が) あわんと(合わない)と エテナワリ 勝手な(が) わり 言うて。

えてにあわせん。えてんあわせん 不得意だ 勝手が悪い [会話] 得手な(が) 合わん、得手な(が) わり(悪い) 言うて。わがとん向かん(自分に向かない) 仕事は 先生 じょおしせえ(漁師しなさい) 言うて エテニ アワセン 言う。

えてにしとる。えてんしとる 得意にしている

えてにのる。えてんなる。えてんる 得意になって居る 調子に乗る [会話] エテン(に) ノッテ 言うて、わがと(自分) 調子ん(に) のる事をなあ、えてんなつて 言うて。

えてもん【名詞】 1) 獣 2) 猿(三、鈴市) [会話] ₁₎ エテモン言うななあ(のは)、けだもん(獣) の事をなあ、エテモンや(だ)。エテモンな よけおつて(沢山居て) 言うて、今しゃなあ(今は) 狸な(が) よけおるもんで(沢山居るので) エテモンな よけおつてなあ(沢山居て) 言うてな。

えどい(江戸絵)【名詞】 江戸で版行した 極彩色の一枚刷りの浮世絵(志(布施田、甲賀、鶴方、神明、立神、

志島、国府)、鳥、多、度、伊、南) [会話] 菓屋な (置き菓を置き歩く富山の菓売りが) 来ると、昔の歌舞伎繪な (が) 書いてあんのを (有るのを)。子供の有る家は 風船や (とか) それ呉れよったわい (呉れて居ました)。菓屋な (が) 来て エドイ 呉れといてた (呉れておいていった) 言うて。昔の歌舞伎繪みたいなのな (のようなのが) 書いて有んのを 呉れといてくんでや (呉れておいて行くのです)。エドイ いましや (今は) あいなもん (あんな物) はやらせんねやろけど (はやらないのだろうか) 菓屋な (が) 来て エドイ 貰た (貰った) 言うて喜びよった (喜んで居た) それ とりやい (奪い合い) して 喧嘩しやあるいて (して) 破つて。

えとき (絵解) 【名詞】説明すること 事情を解き明かす事 [会話] なんやかや 説明するの (するのを) エトキ。

えどる (絵取) 【他ラ五】 1) 色を塗る 彩る (志 (浜島、甲賀、立神、鶴方、神明、国府、安乗)、鳥) 2) 補筆する なぞる (南、熊) 3) 透き写しにする (桑市、南、熊) 4) 化粧する (志 (立神、鶴方、神明、甲賀、国府、安乗)、上、阿) [会話] ③ エドル 書いたのを エドル言うんかい (言うのですか)。何でも 書いたのを エドットキやええわれ (ておけばよろしい) 言うてな。写す事を 写す言うねなしに (言わずに) 写し書きする事やわい (です)。その上を 書いてく (いく) のを エドル 言うんかい (言います)。② じい (字) 書いても エドッタタヨオ (えどってしまつた) 言うんかい。

えなが。えながじゃく (柄長杓) 【名詞】柄の長い柄杓 [会話] こえびじゃく (肥かえ杓) でも、エナガ言うのな (が) 有つて。ええな (柄が) なんがあいの (長いのです) そんで (それで) エナガジャクや (だ) 言うて。

えのした 【名詞】縁の下 床下 (志 (布施田、鶴方、立神、甲賀、国府、安乗)) [会話] 縁の下 言わんとなあ (言わずに) エノシタ 言うのなあ (です)。エノシタを こぐつて (くぐつて) 言うて。

えのみ 【名詞】海女が使用する柄のついた短い鑿 (志) [会話] ええな (柄が) 付いとんの (ているのを) エノミ言うて。曲がとんな (ているのは) ひっかけのみ言う。エノミと、このみとあって エノミ言うな (のは) なあがい (長い) のに こんだけばかの (此れ位の) ええな (柄が) 付いとんの (ているの) エノミ。このみ 言うのは エノミな (が) つかえて取ら

れん時 ながのみな (が) つかえて 使かえんで、そすと ちっちゃい (小さい) こんだけばかの (此れ位の) ええ (柄) の付いとんのな (ているのが) 有つてなあ、このみ使うの (のです) おおびとりやなけな (鮑取りでなければ) 使わせんけどな (使いませんが)。

えのもと (楨本) 【名詞】砂糖問屋の名 砂糖 [会話] エノモトや (と) 言いおつたなあ (言っていました) さと (砂糖) は。エノモト言う さと屋な (砂糖屋が) あるんかい (有ります)、河崎問屋に。そんで (それで) エノモトや (と) 言うの。このだんが (団子は) エノモトな (が) 遠いわれ (遠いです) 言うて、さとな (砂糖が) 効いとらへん (効いて居ない) 言うのを、エノモトが遠いなあ。

えば 【名詞】擬似針を作る時 釣針と羽根をくつつける所。擬似餌 (北、熊)

えばふぐ 【名詞】彼岸河豚 マフグ科の海魚 全長35cmに達する 体はあまり細長くなく 皮膚に瘤状の突起があり地色は暗褐色で黒点が無数に散在する 毒性は強いが、肉と血液は無毒で食用とする、春の彼岸頃が産卵期でこの時期に大量に漁獲されるので此の名がある。えばふぐはこの河豚の皮でえばを巻きつけるので此の名が有る。

えばる (威張) 【自ラ五】 いばるの変化した語 威張る (鳥、桑郡、南)

えび 【名詞】伊勢海老

えびあみ (海老網) 【名詞】伊勢海老をつかまえる刺し網、又、その網を使って漁をする事 (志)

えびす。えびすいお 【名詞】松かさ魚 マツサカウオ科の海魚 全長約15cmに達する、体は側扁した楕円形。体は黄色で、大形の堅い鱗が松かさ状に覆うところからこの名が有る。下顎に一对の発光器を持ち、そこに共生する発光バクテリアに依って強く発光する。肉は美味、かまぼこの材料にもする。よろいうお。(志、鳥)

えびすがい (えびすがひ) 【名詞】鮑の大きいもの マタカアワビ (志)

えびすがお (えびすがほ) 【名詞】いつもにこにこしている顔 (南)

えびせん 【名詞】ブドウ科のつる性落葉低木。えびづる。葉は心臟形で3~5に裂け縁に鋸歯が有り全体に綿毛を蜜生する、若い葉と茎は赤紫色、夏、淡黄色の小さい花が円錐花序に集まって咲く。実は径5mm位の球で熟すると黒色となる。実は食用の他、酒や染料の原料となる。(志)

えびせんいろ【名詞】暗紫色 うるみ色 [会話] 海からあがって来ると さぶうて (寒くて) 口ばな (を) エビセン色ん (に) して ふるとんねやんかい (ふるえて居るのです)。

えびっこ【名詞】1) 海老 2) 腰が曲っている。[会話] 腰な (が) エビッコで 曲がとられ (て居る)。伊勢海老みたよん (のように) 曲がとる (て居る)。猫 おんどる 人も おるし (居ます)。猫 おんどる (背負って) 言うのは、僂僂。

えびで (海老手)【名詞】関節 (主に手関節) が屈伸の時ぎいぎと昔を立てる事 よごめ参照 [会話] エビデや (と) 言うて、てえな (手が) 曲げたり 伸ばしたり すると ぎいぎい言う時な (が) あんね (あるのです)、いとおて (痛くて)。

えびひき【名詞】海女が海老を捕まえる漁

えふ (会付)【名詞】荷物に目印のためにつける紙片の類、荷札 (張)

えぶり (杵) (柄振)【名詞】農具の一種。長い柄の先に横板を付けたもの、土塊を砕き、地面をならすのに用いたり、穀物などをかき寄せたりする。(志、多、伊、南、熊) [会話] 球場な (が) エブリで しとるやんな (しているでしょう)、なあがい (長い) 板へ ええ (柄) 付けて あいなのおを (あんなのを) エブリ言うて、あれで ならすやんかな (平にするのです) たあ (田) の泥を。

えぶりつく 土の表面を平らにする [会話] エブリツク言うの なだら (凹凸) なおすの (のです)、地盤な おすの。板でなあ ええな (柄が) 付けて有って そん (で) (それで) こすると じっぱんなんね (立派になるのです)。野球の球場を あいなのおですんの (あんなのです)。あや、エブリツイトンナ (ている) おもて (思って) じょおく見とんね (いつも見ているのです)。ついたり、たかぼつとると (高くなっている) また こっちゃいもなあ (こちらへも) 引いて ついてても (て行っても) すうつとしてととか (して行く所は) すうつと しとくけんど (しておくのだが) たつかいと、こっちゃいも (高いとこちらへも) 引いて ついて (ておいて) また ついて 何回でもなあして 泥を 万遍 (平均) にすんの (するのです)。エブリツキや (は) 一膳つ 飯よけ喰え (多く食べよ) 言うてな、だあくなよん (楽なように) しとんねけど (しているのだが) 骨な (が) 折れんね (るのです)。

えべす (恵比須)【名詞】七福神の一人 大黒と共に財福を授ける福の神 えびすの訛 (志 (布施田、浜島、甲

賀、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、鳥 (加茂)、員、鈴市、一、松、上、阿、張、名、度、伊、尾、南)

1) いつもにこにこして居る人 2) えびす魚 松毬魚 (まつかさ魚) 各鱗が非常に堅く 大きく甲を形成している下顎の先端近くに一对の黒色の発行情がある (志、鳥 (石鏡)、鈴市) [会話] エベッサン。にこにこしとると (している)、エベッサンみたいなあ (のようだ) 言うて、どこのうち (家) でも 勝手 (台所) 飾って有る エベッサン。にげ (人間) でも にこにこしとると (して居ると) エベスガオやなあ、エベッサンやなあ (だ) 言うて。○小父な 警察 に呼ばれても おまや (お前は) こいなとこ (こんな所) へ来てても にこにこと笑ろて (笑って) 言われて。わしや (私は) 幾ら 辛おても (つらくても) ごおなわいても (腹が立っても) 生まれつき こいな (このような) エベスガオで ごおなわいて しよおないんけど (仕方が無いのだが) こげな (こんな) 顔や言うて。

えべすいお【名詞】松かさ魚 えびす えびすいお参照 (志 (甲賀、安乗)、鳥、度)

えべすがい【名詞】鮑の一種 えびすがい (志)

えべすがお【名詞】いつもにこにこしているような顔 えびす顔 えべす参照 (南)

えべすこ (恵比須講)【名詞】正月二十日の商人の祝い えびすこうの訛 (志 (甲賀、国府、安乗)、鳥) [会話] はつか (二十日) は エベスコ 言うて 商売人の 人らが祝うの (のです)。十一日は じょおし (漁師) の祝い。

えべっさん【名詞】恵比寿様 えべすと同じ (志 (鶴方、立神、国府、安乗)、鈴市、津、張、尾) [会話] エベッサンえ あげる 言うて、エベスだいこく 言うて。昔それ 神さんを、神さんでして エベッサン言うの (のを) じょおしの家なあ (漁師の家では) 別に まつとるわい (祭っています)。今しは (今は) 神さんをひとつんしといて (一つにしておいて) べつべつん切つてあるけど 昔、別に神棚と エベッサンわだ、エベッサンは勝手のわい。そして エベッサン いや しもんで (卑しいので) 食うとこ (所) 眺めるとこい (所へ) せなはざんねてわれ (しなければいけないそうだ) 言うて、勝手のとこい (所へ) しよおったわい (して居ました)。

えましむぎ【名詞】茹でて水分を含ませて膨らして有る大麦 よましむぎ参照 (志)

えもん (得物) (獲)【名詞】漁で取った物、魚介類、転

じて手に入れた物すべてに言う

えもんかけ (衣紋懸) 【名詞】 えもんざわ 短い棒の中央に紐をつけ両端を両袖に差し入れ掛けておく物。竹製をえもんざお (えもんざわ) と言う。(南)

えら 疲れた、ああエラ

えらい (偉) 【形容詞】 1) 程度の甚だしいさま ひどい大変だ (志 (鶴方、国府、神明、立神、志島、甲賀、安乗)、鳥、桑市、四、鈴市、安、津、一、松、多、上、阿、伊、尾、北、南、熊) 2) 賢い (志 (鶴方、浜島、片田、志島)、員、鈴市、安、上、阿、張、名、北、南、尾) 3) 骨が折れる 苦しい 疲れた 苦痛がひどい (志 (布施田、浜島)、鳥 (加茂、答志)、桑郡、桑市、員、四、三、鈴市、安、津、久、一、松、多、上、阿、張、名、伊、北、尾、南、熊) [会話] 3) エライなあ今日の仕事は 言うて。きつい仕事をすると 今日のしごた (仕事は) えらかったなあ。2) 賢い人でも エライ人言う あのひた (人は) エライ人やな (だ)、ええ (よい) 人やなあ (だ) 言うの (のを) エライ人やなあ。学問が有るとか 頭な (が) ええ人やとか (だとか)、エライ人や (です)。1) 口な (が) エライ 口のかばっか (口の皮ばかり) えろおて (えらくて) お喋で 喋ろくて 口からささい (に) 生まれて来たよ おなにげやなあ (人間だ)。エライ 言うのは 賢いとか 立派な人や (だ) 言うのも有るし、仕事な もの すごお エライ 言うのも、口がエライのも エライやし (です)。1) そすと (すると) 困った時も えらいこっちゃ (えらい事だ) エライ事したた (してしまった) こや (これは)。

えらいこっちゃ 大変な事だ (志、桑市、四、一、阿、伊、熊) [会話] 昔や 部屋な よけ (沢山) 無いんよ って (無いのだから) そして 子供な (が) 五人も六人も八人も 有るのが 一部屋ずつあてる 言うたら エライコッチャ。

えらいこと 程度が甚だしい事 大変な事 失敗 成功 (志 (布施田)、員、三、鈴郡、一、松、阿、張、名) [会話] エライコトしたて (してしまつた) なつともか ともよおせん (何とも彼とも出来ない)。まあ エライコト やつたて (してしまつて) まあ 言うて 失敗 したても (してしまつても)。

えらいことや 大変だ 大変な事だ (志 (布施田)、張) [会話] エライコトやなあ (だ) 言うて、仕事をすん のん、しのくい (するのに難しい) 事な (が) 有ると、こやまあ エライコトやなあ言うて、雨な (が) 降つて 田 作る時やつたら (だつたら) 雨で 皆 稲な

(が) ねてたり (倒れたり) すると、ま おおた (ああ) エライコトやよお (だ) 言うて、失敗したると (してやると) エライコトやなあ言うしなあ エライコトしたたよお (してしまつた) 言うて。

えらいさん (偉様) 【名詞】 偉い人、さん 様の転 人名職名に付けて 敬意を表す 不動物に付けて親愛の意を表す (鳥 (国崎)) [会話] エライサンは 先生やとか 村長さんとか 町長さんやとかなあ。

えらいしんぱいかけて 1) 贈り物に対する感謝の気持ちを表す言葉 2) 大変心配させてしまつて えらいしんぱいしてもおて参照

えらいしんぱいしてもおて 1) 贈り物に対する謝礼の言葉 (名) 2) 大変心配してもらつて [会話] 1) ぐあいな (調子が) わりいてなあ (悪くて) 見舞いもろたり (貰つたり) 何んやかやすると エライシんぱいか ケテのお言うて 言うやんかい (言います)。シんぱいシテモオテのおとか 言うてなあ。

えらいすまんけど 大変済みませんが ものを依頼する時の言葉 (尾) [会話] エライスマンケド これを してくれるかい (してくれますか) とかなあ、エライスマンケド こげん (こんなに) 言うて呉れるかい とかな、人ん (に) 頼む時 エライスマンケド言うて こやまあ (これは) エライスマンナア言うて。エライスマンケド それ 分けて貰われやへんかい (貰えませんか) とかな そう言う時に使うな (使います)。

えらいすまんな。えらいすまんなあ 大変すみません えらいすまんけど参照

えらいなあ 1) 大変ですね (志) 2) 疲れた (桑郡、三、四) 3) 偉い [会話] 1) お前 まあ おおた (ああ) それ 皆 書かんならんで (書かぬばならなくて) エライナア言うて 言うし。3) 小母さん 何んでも知つとて (ていて) エライナア言う。1) あんたら その仕事 えらい仕事やなあ (だね) 言うて、人の仕事見とても (見ていても) えらいやるな (だろう) 思うとな、エライ事やなあ。2) 疲れた言うのも おた エライナア言うて。

えらいのお 1) 大変ですね (南) 2) 疲れた 3) 偉い [会話] 1) エライノオ 言うて、何んでも 仕事して しとるとさいご (その時) エライノオ 言うて。年寄りの人らでも、よわい (弱い) 人らでも しとると (していると) おた (ああ) エライノオ その仕事言うて。

えらいはなし 【名詞】 大変な話 とんでもない話 [会話] エライハナシやんか (でないか) そや。あの家 エラ

イハナシやなあ (だ)、はなしな (が) わりなあ (悪い) とか言うて、不思議な事があるとか 悲しい事な (が) 有るとか 言う時な (です)。

えらいめ【名詞】 1) ひどい目 残酷 ええめえ参照 (鈴市、南、熊) 2) 大変な仕事 [会話] 1) エライメン (に) おおた (逢った) 言う。わりことな (悪いこと) 有ると、エライメン (に) おおたよお 言うて 今日 エライメン逢おてまあ 言うて。

えらいめはらす 苦労して仕事をさせる 骨の折れる仕事をさせる [会話] 仕事してもおた時ん (貰った時) エライメハラシタ時ん (に) ほねおり やったのお (でした)。

えらいめんあう 困難な事に当たる 大変叱られる

えらいめんあわしたろん いじめてやるぞ 残酷な仕打ちをしてやるぞ 叱る時の言葉 [会話] そげな (そんな) 事 すん (する) のなら、おんな (俺が) 家いて (行って) エライメン サシタロン (させてやる) どいらい (大変な) めん (に) したろん (してやるぞ) 言う事もあんね (有るのです)。叱る言う時も有るしどいらいめんしたろん エライメンアワシタロン 言うて ものすごお (物凄い) 腹の立つとる (ている) 時 言う言葉や。

えらいめんあわす 1) ひどく叱る 残酷な目にあわす いじめる (張) 2) 困難な仕事をさせる [会話] 2) エライメンアワスのお 言うて、えらい (困難な) 仕事して貰うと、おおた、まあ (ああ) お前らん (に) エライメンアワスのお言うて、1) そげな (そんな) 事すんの (するの) なら おんな (俺が) 家行て えらいめんさしたろん (させてやる) どいらいめんしたろん (大変な目にしてやる) 言うて 言う事も あんね (あるのです)。叱る言う時もあるし どいらいめんしたろん エライメンアワシタロン 言うて ものすごお 腹の立つとる (ている) 時 言う言葉や (です)。

えらいめんおおた 困難な事 悪い事に逢う 叱られた [会話] エライメンオオタ 言う。わり (悪い) 事な (が) 有ると、エライメンオオタよお 言うて 今日 エライメンオオテまあ言うて。

えらいんや 1) 偉いのだ 2) 大変なのだ

えらかった 1) 偉かった 2) 疲れた [会話] 2) おおた (ああ) 今日 エラカッタのお (です)。今日のしごた (仕事) エラカッタのお、言う。1) 子供らな (が) 学校で優等して来たりすると エラカッタなあ 言うて ほめ言葉もあるしなあ。

えらかったのお 御苦労さんでした えらかった参照

えらがる【自ラ五】 1) 疲れを訴える 2) 威張る

えらきってく 1) 偉い 甚だ優秀である (南) 2) 大変疲れた (北) [会話] 1) えろおて (えらくて) えろおて、かしこおて (賢くて) 物凄い賢いのをなあ、なんさしても (何をさせても) えろおてすんの (するのを) ほん エラキッテク子やなあ (だ) 言うてなあ 2) 疲れた時も エラキッテク。

えらさ【名詞】 1) 程度を表す 疲れ 偉いの程度を表す 2) 偉いと言うほめ言葉 仕事をさせた時 学業のすぐれた時などに使用。よく出来ました (志 (布施田))

えらそお【形容動詞】 1) 忙しい様 (鈴市、南) 2) 威張って居る 得意気 (鈴市、安、南) [会話] 2) エラソオぶんのなあ (偉そうにするのです)。何でも わがと (自分が) 自慢して こや (これは) おんなしたね (俺がしたのだ)、俺やなけな (でなければ) よおせんね (出来ないのだ) てやら 言うのを、エラソぶって言うてな。

えらそおな 1) 大変な様だ。忙しそうだ。2) えらそうだ。生意気だ。威張ったさま。(張)

えらそおに 1) いかにも偉いと言うふりをする。えらっそおに参照 2) 忙しそうに。又、疲れて居るさま

えらそげ。えらそげん いばるさま 高慢なさま

えらそぶる 偉ぶる 威張る 得意気にふるまう (志 (布施田、神明、志島、国府)、南) [会話] エラソブル えらっそぶる えらっそぶって 言うてな。

えらっそお 1) 偉そう (志) 2) 忙しそう

えらっそおな 威張って居る 得意になって居る [会話] エラソオナ あげな (あんな) 事ばっか (ばかり) 言うて、わがと (自分が) 自慢して言うて えらっそおん (に) 言うて。

えらっそおに 偉そおに 得意そうに

えらっそおんする 偉そうにする 威張る [会話] えらっそぶる言う事やわい (です) エラソオンسنのもの。

えらっそげん 偉そうに、偉そうなそぶりをする。

えらっそぶつとる 偉そうに振舞う 偉そうにする [会話] あんまり (余り) エラソブツトルと、あの人威張屋で 言うて。

えらっそぶりや【名詞】 いつも威張って得意顔にふるまう人 [会話] エラソブプリヤ言うな (のは)、何時でも えらそおにして わがと (自分が) 俺より えらいもん (者) 無い言うたよんしとんのを (ようにしているのを) 言うの (のです)、何でも わがとな (自分の) 事ばっか (ばかり) ええよん (いよいよ) 言

うのを 俺よりのもん (者は) ない言うて えらっそぶってばっか (ばかり) 居ってまあ 言うて。

えらっそぶる (偉) 【自ラ五】 偉そうにする。そ そう相 外に表れた姿形 外見 態度。ぶる 振る 名詞 形容詞 形容動詞に付いて いかにも それらしい様子を する そのように振る舞う 自分は特別の人間などだと言うように振る舞い 他人に嫌な感じを与えるもったいぶる。ぶっとる 振りをしている (久) [会話] エラッソブル言うのは、あんごしくせんおって (馬鹿だのに)、賢ぶりして、知ったかぶりすんの (するのを)、まあ エラッソブル。なんも知らんとおって (何も知らないのに) 知ったかぶりして エラッソブル 言うよおな時ん (に) 使うけど (使います) 威張る事を エラッソブル。

えらなる 1) 偉くなる (伊) 2) 苦しくなる 疲れる (張、伊) [会話] どいらい (大変) エラナッタ 言うのも、かしこお (賢く) なったとか、物が出来てま 仮に 学校い 行とて (行っていて) 試験うけた や (受けたら) うかったんでわれ (受かったそうだ) エラナッタ 言うてな。

えらぶつ (偉物) 【名詞】 えらい人 実力のある人 手腕家

えらぶる 【自ラ五】 偉そうな様子をする 偉そうに振る舞う 得意になる (一、度、南、熊) [会話] エラブル 言うのも えらっそぶる言うのも 一緒やわい (です)。

えりがみ (襟髪) 【名詞】 頸の後ろの髪 または頸の後方 [会話] エリガミ言うの 後ろなあ (です) この後ろの、うしろがみ みつびんに結うと、エリガミな (が) ええなあ (よい) 言うてな。

えりぐい (えりぐひ) (選食) 【名詞】 自分の好きなものだけ選んで食べる事 又、大きそうな物 うまそうな物から 先に選んで食べる事 [会話] 山桃のエリグイ 言うて、おっきい (大きい) あかろんどのばっか (熟して居るのばかり) えって (撰んで) 喰うて 後の とごりかす (残り滓) も 喰うくせんおって (食べるのに) 始めや (は) ええのばっか (よいばかり)。

えりぐいえんど 【名詞】 豆 腕豆

えりくず (えりくづ) (選屑) 【名詞】 選んだ後に残った物 える 撰を活用した語 [会話] えってた後 何んやかや ええのえったた (よいのを選んだ) 後を 悪い (悪い) のを すると エリクスばっか (ばかり) 貰るて (貰って) 言うてな、人ん (に) 貰らう時 ええのえったた (よいのを選んでしまつて) エリクスばっか 呉れて言うて。

えりごのみ (選好) 【名詞】 好きな物だけ選びとって 他を顧みない事 よりごのみ [会話] こやええ (これはよい)、あやええ (あれはよい) 言うて ええのばっか (よいのばかり) を わがとすんの (自分がするのを) エリゴノミして言うて。嫁ん (に) 行け言うても あの人な (の) とこい (所に) 行け言うても や (嫌だ)、この人な (の) とこい 行け言うても や や 言うて、あの人ならええけど (よいが) この人なら ええけど 言うて 言うのを エリゴノミ言うの (のです)。エリゴノミしとると (していると) たかぎ (高い木) のぼらな (なければ) ずくしゃ (熟柿は) くわれん 言うて ええひと (よい人を) を このまな、やんない (好まなければ、でしょう)、このみさ いしゃ (好みさえすれば) ええとこい (よい所に) 行き当たるのを 言うんやろな (言うのでしょう)。たかぎの ぼらな ずくしわ くわれん 言うねよって (のだから)、下ん (に) 居ってや (居ては) 渋柿ばっか やけど (ばかりだが)、とおげい行きや (上に行けば) ずくしも有る 言う様なもんで あやはざん (あれは駄目) こやはざん (これは駄目) 言うどるうちん (言っている間に) ええのい (よいのに) 行き当たる言うことやろなあ (言うことでしょう)。

えりさがす (選探) 一生懸命探す あれこれと選ぶ [会話] よりさがして エリサガシテ ええのばっかこね くって (ばかり探し出して)。

えりすぐる 【他ラ五】 厳選する。更により物を選ぶ

えりだす (選出) 【他サ五】 多くの物の中から 目的に合う物を捜し出す [会話] ええの エリダシテ 言うて、大きいのおを (のを) えるとか、美しの (のを) える とか、言うと ええのばっか (よいのばかり) エリダシテ 言うてな。大きい (のを) こやまあ (これは) 大きいよって (から) これも えっとけ、これも 色な (が) ええよって (よいから) これもえっとけ 言うて エリダスとなあ エリダス 言うのなあ。そして 残ったなあ えりくず (選り屑)。

えりどり (選取) 【名詞】 多くの物の中から選んで取り出す事 [会話] エリドリ ミドリで言うて、エリドリ言うな (のは) わがと (自分が) 好きなのを 取んのを (取るのを) エリドリ、好きなのおを (のを) 先い (に) 取ん (取るのを) エリドリミドリ言うて。どれでも エリドリミドリやどお (だ) 言うて、早いも な (者は) わがと (自分の) 好きなの 取るし、おっ そいもな (遅い者は) 残ったのを せなはざん (しなければいけない)、後の残ったの取って 後ののこや

(残り)は おばや、後ののこりは 猿様や (だ) 言うて、猿ん (に) 呉れんねやろん (呉れるのでしょ)。わがと 貰う時でも 猿と一緒にやれ (だ) 一番最後ん (に) 貰うねよってん (貰うのだから) 思て 後ののこや 猿様やなあ言うてな、貰う時も そんに言うて 冗談言う。エリドリミドリ言うて 選って見て取って、ありどりやよって (だから) ええの (よいのを) 見て取んねよって (取るのだから)、それを エリドリミドリ。

えりどりみどり【名詞】 好き勝手に選んで取ること 選り取り見取り えりどり参照

えりぬく【他カ五】 多くの物の中から選び出す。

えりわける(選分)【他カ下一】 多くの物を程度や種類によって別々にする [会話] エリワケル 言うて、こやええのや (これはよいのだ)、こやわりのや (これは悪いのだ) 言うて 別々ん (に) すんの (するのを) エリワケル 言うのな (のです)。みかんやどけでも (などでも) 大 小 別ん (に) エリワケトルやんかい (ています) 機械で、それを 言うのな (のです)。

える(煎る)【自ラ五】 水分がなくなる迄 かきまぜながら 火に掛けて熱する 次項会話参照 (志 (志島))

える(撰)【他ラ五】 撰り分ける [会話] 豆 煎るとか エルとか。物を大小 えり分けるとかな エル いる。

えれ【感動詞】 文末について 助詞のようにも 使用される 軽く感情を表す女性言葉 [会話] おおた エレ まあ 言うて、ここに何か物が有るやろ (でしょう)、みんなえりどりみどり (選り取り見取り) して、とて (持っていつて)、そすと 後い (に) わりのぼっか (悪いのばかり) 残とるやんない (ているでしょう)。おおた エレ ええのぼっか (よいのばかり) 取った (てしまつて) 言うて、あきれることを おおた エレ言うのな (のです)。おおた エレ こえん (こんに) ええのぼっか えってて (選んで行つて) 言うて、ええのぼっか えってくとな (選んで行くと)、自分が貰らお思ても (貰おう思つても) ないやんない (無いでしょう)、おおた エレ こげん (こんに) 皆 よお持てたことや (よく持って行つた事だ) 言うて、呆れたり ごおもわいたり (腹も立つたり) する時。

えれまあ【感動詞】 文末に有つて軽い驚きを表す (三重県全域)

えろう 触る 触れる いじくりまわす いろいろ [会話] 何んやかや当たると、よけ (あまり) いろいろ 言うてなあ エロウ言うの。いろてぼっか (ばかり) おる

やんかあ (居るではないか) 言うて、当たることを さわることを 何やかや さわるとな (触るのを)、魚でも よけ (あまり) エロウと あざれてかれ (悪くなる) 言うやんない (言うでしょう)。ぬくたいてえで (暖かい手で) いろと よけ なぶんな言うやんかい (触るな言います) なぶんな 言うたり いろな言うたり。

えろお【副詞】 たいそう 甚だ 大変に (志、鳥 (国崎)、桑市、員、鈴市、亀、安、一、上、阿、張、度、伊) [会話] 大変 言うことやな えらい せわかけてなあ 言うて いろいろお世話になりましたとか 大変お世話になりましたとか 言うのを エロオ言う。

えろおて 1) 偉くて 2) 疲れて (阿、張、北) 3) 大変で [会話] ₂₎ エロオテ エロオテ 言うのは かいだりて (だるくて) かいだりて 言うこともあるし、₁₎ かしこおて (賢くて) 言うのも エロオテ、あの人 な (が) 言うて、何ん (に) ても 出来る人のこと 何ん ても よおして (よく出来て) エロオテ言うてな。₂₎ 歩き疲れた時でも 仕事して疲れた時でも エロオテ エロオテ、今日は エロオテ エロオテ 言うて くたばつて (疲れて) 言うて。

えろおなる 1) 偉くなる 2) 疲れる (伊)

えろて 1) 大変で 2) 偉くて 3) 疲れて

えろで 選んで [会話] みいりな (収入が) ええとこ (よい所) エロデ 行くね (行くのだ)

えろなつた 1) 偉くなつた 2) 疲れた

えろなつたなあ 立派になつたね。出世しましたね。(北)

えろなる 1) 偉くなる 2) 疲れる (張) 3) 天候が荒れる (風、雨なエロナル。波なエロナル) (志) [会話] ₁₎ あの家の子ら かしこおて (賢くて) 勉強な (が) えろおて (よく出来て)、エロナツテ まあ えらいひとん (人に) なつて 言うて。₂₎ エロナツテきた、疲れて来た つかれんのお (るのを) えらい言うて 今日ではえらかつて言うて。

えん(縁)【名詞】 1) 廊下 (南) 2) 端、物事のへり 3) 縁、関係を持つきっかけ。

えんえ。えんえい【名詞】 歩く 幼児語 えんえ参照 [会話] 早よ (早く) エンエせえまあ (しなさい) 重たいわれ (です) 言うて、おおどて、おもたいわれ (負ぶつてて重いです) 早よ (早く) エンエせえ (しなさい) ひとばか (少しの間) 言うて。

えんええ【名詞】 歩く 幼児語

えんかい【名詞】 1) 何事もする能力のない者 甲斐性

なし 2) 病弱 弱々しい (志 (片田 布施他)) [会話] 2) エンカイよ (奴)、あんごよ言うやんかい (言います)。なんもよおせんもん (何も出来ない者) をいぐないみたい (病弱者のように) したんの (して居るのを)。いぐないの事を エンカイ言うんやんかな (言うのです)。エンカイ言うて くらわろう (子供叱る) 時ん (に) 言うわい (言います)。エンカイよ言うの (の) もいぐない言うのも 一緒の意味やな (です)。ここな (この) いぐないよ言うて わるうやんかい (叱ります)。1) なんもよおせんと さいご (その時) けんとなしみたいな (見当無しのよう) もんや (者とか) かいしよ無しみたいな (甲斐性無しのような) もんや。エンカイよ言うて。なんも まに合わんとあ (全く役に立たないと)。

えんがまち (縁) 【名詞】 縁側 廊下

えんぎとり 【名詞】 えんぎをかつぐ 又その人

えんぎとる えんぎかつぐ ある物事に対し、それがよい前兆であるか不吉の前兆であるか気にする [会話] かと舟 (艇舟) やら、さいら舟 (秋刀魚舟) する家はエンギトツテ、神さんの下も 通らしやせん (通らしません) 月経やと (だと)。

えんぎなおし 不幸続きの時にそれを消すために行う行事 (北、多) [会話] えんぎな (が) 悪りよって (悪いから)、エンギナオシに 今日はいっぱいやろやんか (酒飲みましょう) 言うて。あすも悪り (悪い) あれも具合な (が) 悪り、これも具合な (が) 悪りとか、又 金も盗まれた 金の稼ぎな (が) 悪り (悪い) とか言うて ええ時 (よい時) がない時に、エンギナオシしよおや (しましょう)、えんぎな (が) わりよって、今日は エンギナオシん (に) いっぱいやろか言うて (酒飲もうか) よお言うやんかい (よく言います)。

えんぎもん (縁起物) 【名詞】 縁起を祝うための品物 [会話] エンギモン言うど、何んでも 神さんえ 供えんの (るのを) これは えんぎな (が) ええよって (よいから) めでたい。鯛めめでたい言うて えんぎなええやんかあ (がよいのだ) 言うて。

えんぐみ (縁組) 【名詞】 婚約

えんさき (縁先) 【名詞】 廊下 縁側の外側に近い方 (上、阿) [会話] エンサキい (に) ちょいと (少し) 腰掛けて休めまあえ (休みなさい) 言う。誰でも ちょいと 腰かけるやんかい (少し腰掛けます) 来るとなあ。まあ エンサキい (に) 腰掛けて えんがわやたら (縁側とか)。

えんじゃ (縁者) 【名詞】 自分と因縁のある者 縁続きの

人 親戚関係でつながって居る者 [会話] エンジャ 縁な (が) ある人を 血のつながった (連なった) 人、あの家も 縁な (が) あんねよって (有るのだから) 言うてなあ。

えんしょ (えんせう) (煙硝) 【名詞】 有煙火薬の俗称 [会話] とおつけぎ 木の この位に (約10cm) 切った そこへ エンショな (が) 付いて 藁で束ねて 有って 二銭や三銭で 一束 買われおった (買えました)。

えんじょ 【名詞】 遠慮 辞退 (南) [会話] えんりよする 言うんかい (言うのですか) 遠慮言うんかい、辞退する 言うんかい。辞退する言う事を まあ えんりよ したくわい (しておきます) 言うて。今日はお前も来て呉れやええねやんかい (ればよいのに) 言うて わしとか (所は) エンジョしとくわい 言うて。

えんぜつつかい (えんぜつつかひ) (演説使) 【名詞】 上手に言葉を操って 人をひきつけるような調子で説明したり 聴衆を納得 感心させる人 上手に話をする人 政治家の応援弁士など

えんだい (縁台) 【名詞】 家の外で用い 簡単に移動出来る細長い腰掛け台 路地や庭先に置いて涼み台として用いられる 縁側に代用する台の意 (大言海) (志 (布施田)、上、阿) [会話] 昔や エンダイ 言うて、涼み台を 皆 こしやえとて (作って居て)、夕影 みいもて (見ながら) 一杯 飲め 言うて 飲む人らは そげんして (そんなにして) 飲んどりおった (飲んで居ました)。

えんぢかい 結婚するのが早い えんづかせる参照

えんちゅう (塩中) 【名詞】 塩中毒 [会話] 塩を、しおもん (塩物) を、味噌のたある (樽) を 洗ろてしたや (したら) おつけ (味噌汁) 炊いても うまそおんしとる (にしている)、それを 豚にやったや (ら) まあ エンチュウで まあ きりきりしてて (死んでしまつて)、味噌の たある洗ろたや (樽洗つたら) そしたや (そおしたら) あんまり (あまり) 塩分な (が) 多い かって (多かって) 子豚やもんで (なので)、きりきりしててなあ 弱った事な (が) あんねてや (ありました・有るのです)。

えんづいた 結婚した えんづかせる参照

えんづかせる 嫁がせる 結婚させる [会話] 娘な (が) 嫁入りする (結婚する) 言うの、エンヅイタ。嫁ん (に) いかんと (行かないと) おれげの (俺の家の) 娘 縁な (が) とおて 嫁ん (に) 行かせん (行かない) 縁どおて、縁ぢこおて (近くて) 言うて。エ

ンツカセルは 嫁にやることな^あ (です)。エンツイタ (結婚した) 言うて。娘^な (が) 貰い手^な (が) ないと おらげの (俺家の) 娘^や (は) 二階の雨戸で えんが^{のおて} (無くて) 言うて、えん^な (が) のおて まあ 嫁^ん (に) 行か^{せん} 言うことを。

えんづく (縁付) 【自カ五】 嫁ぐ 結婚する 嫁入りさせる (志、鳥 (国崎)) [会話] エンツク言うの 嫁^{する} (結婚する) 言う事^な (です)。えんづいた エンツク 言う事^な (です)。

えんづける (縁付) 【他カ下一】 嫁がせる 結婚させる [会話] エンツケル言う^な (のは) 嫁^ん (に) やる 言うこと^{やわいな} (です)。

えんつづき (縁続) 【名詞】 親戚 姻戚の関係で つながって居る事 [会話] エンツツキ言う^な (のは)、あんた 家 (貴方の家) と さくた家とは エンツツキで、叔父さん 叔母さん 言うので エンツツキやよって^{んなあ} (だから) 言うて。血^な (が) ついと^る (連なってる) こと^な (を) エンツツキ^や (だ) 言うて。

えんてん (炎天) 【名詞】 燃えるように暑い 盛夏の空又、その天気 [会話] 六月土用に ひいな (日が) きつついと (きついと)、エンテンに照られて まっ黒や (だ) 言うて、エンテン^や (だ) 言う^{のな} (のです) 土用の照る事を エンテンに 照られて言うてな。

えんてんぼし (炎天干し) 【名詞】 炎天の下にさらして干す事 夏の日光に直接さらされる事 (上、阿) [会話] エンテンボシ。日^な (日が) てつとるとこい (照っている所へ) だましげん (全部あげだして) 干すのを エンテンボシ^んして言うて。だまけに (全部あげだして) 干すのを エンテンボシ^ん言うて。

えんど 【名詞】 豌豆 えんどまめ参照 (志 (立神、国府)、鳥、三、鈴市、鈴郡、松、伊)

えんどおい (えんとほい) (縁遠) 【形容詞】 良縁に恵まれない 結婚の相手になかなか巡り会えない [会話] エンドオイ言うて、嫁に行く^{のん} (の)に おっそい (遅い) ことを、エンドオテ言うて。嫁や婿^ん (婿に) 行く^{のん} (のが) おっそいと、あの家 みな エンドオテ言うて そして早よ行くと あの家^{みな} えんちこおてなあとか。

えんどまめ (豌豆) 【名詞】 えんどに同じ 豌豆の重言 豌豆 マメ科の一年草の植物 多くはつる性で高さ1 m内外 葉は一内至三対の卵円形の小葉を持った羽状複葉で 先端は分岐した巻ひげとなる。托葉は半切りした心臟形で小葉より大きい。春 葉腋から長い花茎を出し1~5ケの紫~白色の蝶形の花をつける。豆果

は線状長楕円形。種子は褐~白~緑色 種子と若いさやを食用とする。(志、鳥、三、鈴市、鈴郡、松、伊) [会話] エンド さやまめ サヤエンドを みい (実) にした^の (のを) エンドを 早よむいて 食べとか、いれえ (炒りなさい) とか 言よおったけどな (言っていました)。さ^や (莢) で 食うと さやえんど言うて みい (実) にすると エンドマメ言うて。

えんどめし (えんどうめし) (豌豆飯) 【名詞】 豌豆を米に混ぜ 塩を入れて炊きあげた飯 (松、飯) [会話] エンドメシ言う^な (のは) みい (実) を むいたのを、飯^い (に) 炊く^{のなあ} (です)。エンドメシ むきみにしたのを、飯^い (へ) 入れて炊くと、うまいわな (美味しいです)。それ、エンドメシ言う^{のな} (のです)。

えんなどおい (えんなどほい) 結婚するのが遅い [会話] エンナトオイ言うて、嫁^ん (に) 行く^{のん} (のが) おっそい (遅い) 事を、エンドオオテ (速くて) 言うて、嫁や婿^ん (に) 行く^{のん} (のが) おっそいと あの家^や (は) 皆 エンドオオテ。

えんなどおおて 嫁ぐのが遅くて

えんのかき (縁軒) 【名詞】 家屋の軒 軒下

えんのかき 【名詞】 縁先 廊下 [会話] えん^{のかき}言う^{のなあ} (のです)、えん^{のかき}い (へ) そやれ (それ) ちよいと (少し) 置いとけまあ (置いておきなさい) 言うて、軒下とか濡れ縁^な (が) あると それを エンノサキ^や (だ) 言う^{けど} (言います)。

えんのかした 【名詞】 床下 (松、多、尾、南)

えんばやい 結婚するのが早い。縁が早い [会話] 縁が早い、結婚^{すん}の^な (するのが) 早い エンバヤイ戻って来ても、又 直ぐん (に) 行く。

えんべつ 【名詞】 鉛筆 (志 (浜島、甲賀、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、鳥 (国崎)、桑郡、桑市、員、三、鈴市、松、一、多、上、阿、張、名、度、伊、北、尾、南、熊) [会話] 鉛筆言う^の (のを) エンベツ言うたり、エンベツ言う^{人な} (が) 有る。

えんまがお (えんまがほ) (閻魔顔) 【名詞】 恐ろしい顔 [会話] エンマガオ言うて 器量のわりの^{なあ} (悪いのを)。あの^{ひた} (人は)、エンマガオ^{やなあ} (だ) 言うて、器量^な (が) わりと、エンマガオ言うて。借金しても 借る時 にこにこ顔で、出す時、エンマガオ言う^{やんかみ} (言います)。エンマガオしてまあ 言うて。むつかし (難しい) 顔しとる (している) のを言うんやろな (言うのでしょうか)。

えんや (縁) 【名詞】 家屋の縁 縁側 (志、上、阿、張、名)

えんやぼぼ【名詞】 女陰 毛の育てて居るもの。えんや
は艶冶(身なりをなまめかしく飾る)か

えんりょ【名詞】 遠慮 他人に対し、言葉や行動をひか
え目にすること

えんりょする【自サ変】 辞退する [会話] エンリョント
クワイ(しておきます)、よさや(夜は) わしんとこん
(私の所で) ちょおいと(少し) 何かすんねよってん
(するのだから) お前も来て呉れえ(下さい) 言うて、
そやけど(しかし) エンリョスル 言うて、そいな
(そんな) 時に使うの(のです)。そすと 何かまあ、
これを持ってくと(持って行くと) ええんけど(よい
のだが) 言うて ま そやけど(しかし) 気の毒なの
ん(のに) エンリョスル 言うてかなあ、辞退する事
やな(です) エンリョスル言うて。

えんりょのやま 非常に遠慮すること。

えんりょぶかい(遠慮深)【形容詞】 他人に対する言葉や
動作が、たいそう控え目である [会話] やろ(あげよ
う) 言うても、何んでもかでもいらん(いらない) 言
うと、おおた、あの人 あんまりエンリョブコオテ
(深くて) 嫌いや言うて。あんまり(あまり) 辞退し
いすぎる(し過ぎる) となあ、エンリョブコオテ す
かんなあ(いやだ) 言うて。せっかく 人な(が) やろ
言うのに、いらんねや(いらないのだ) いらんねてや
言うて てんばち こんばちはらうね(払うのです)。
てんばち こんばち 拂らう言うな どうあっても要
らん(いらない) 言うて、まあ 持ってけ(持ってい
け) 言うても、わしんとか(私の所は) ええてや(よ
ろしいです) まあ、ええてや言うて それを てんば
ちこんばち 拂う言うの(のです)。エンリョブカイ言
うな(のは) 慎みのある人も エンリョブコオテ(深
くて) 言うなあ(言います)、慎み深い人を。

えんりょはそんりょ【俚諺】 遠慮していると損をする
(員、阿、張、名)